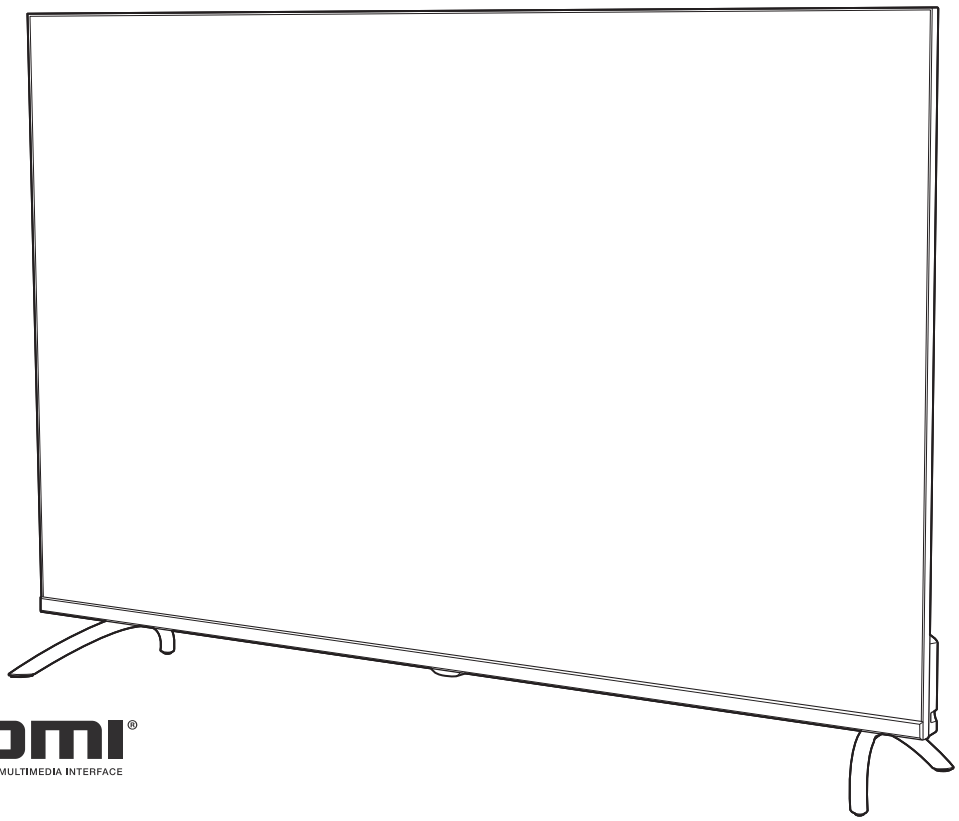
ORION

スマートテレビ 型番: DLS50RD10

取扱説明書



HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
- 保証書は必ず「販売店／購入日」などの記入を確かめて、お買い上げの販売店からお受け取りください。

搭載OSのバージョンアップなどにより、各画面のデザインや設定項目などが、この取扱説明書の内容と異なっている場合があります。

株式会社ドウシシャ

5B25A

安全上のご注意

（この取扱説明書の文中に出てくる「スマートテレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています）

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1 テレビ内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。

2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。

3 テレビ内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。

4 ちり、ほこりを取るためテレビ内部を掃除するときは、、販売店もしくはドウシシャカスタマーセンターにご相談ください。

⚠警告

禁止

電源コードの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください
- コードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがディスプレイの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

高圧注意

分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調節、修理は、販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

絶対に水にぬらさない

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアーピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

禁止

ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない

炎が近づくと、火災の原因になります。

禁止

交流100ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

本機が落下または転倒すると、死亡または重傷を負う原因となることがありますので、本機を設置するときや、移動するときには、以下のような予防措置をしてください。お子様のいるご家庭では、特に注意してください。

- 本機をご使用になる前に、必ず付属のスタンドを取り付けてください。取り付けには付属の取付用ネジを使用して固定してください。
- 落下や転倒によるけがや物損事故の原因となることがありますので、ぐらついた台や傾いた台などに設置しないでください。
- 設置場所や取り付けに気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
- 台などにのせて設置するときは本機が台などの端からはみ出さないように設置してください。
- 食器棚や本棚などの高い家具や台などにのせて設置するときは、必ず落下および転倒防止の処置をしてください。
- 台などの上に布などを敷いて本機を設置しないでください。
- 本機を操作するために、本機を設置した台や家具などに乗ったり登ったりしないよう、お子様によく注意してください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャカスタマーセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

安全上のご注意

⚠注意

禁止

通風孔をふさがない
通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔をあけてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
火災や感電の原因となることがあります。油分によりスタンドやキャビネットの強度が低下し、落下や転倒によるけがや物損事故の原因になる恐れがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

指示

水平で安定した所に置く
倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く
次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故を防ぎます。
- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。

指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を
長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために
- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。
- 本機の設置や持ち運びは2人以上で行なう。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない
液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、液晶パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。

指示

禁止

電池の取り扱いについて（リモコンの電池）
電池の使いかたを誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。
- ＋－の指示通りに入れる。
- 指示以外の電池は使用しない。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 電池の充電、ショート、分解、火への投入、加熱などしない。
- 液漏れがあった場合は、その液に触れない。
- 小さなお子様の手の届くところに電池を置かない。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。

指示

リモコンによる操作について
リモコンを使用するときは、本機が見える場所から操作してください。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
  汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。
    また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
    ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。
  液晶パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - 液晶パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
    傷付き・変色の原因となります。
  - 液晶パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
    色ムラ・変色の原因となります。
  - 液晶パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
    傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や面欠点の増加の恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、液晶パネル表面や上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、液晶ディスプレイの上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

連続使用について

本機は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。
有寿命部品（バックライト、アルミ電解コンデンサ）の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご利用は避けてください。

廃棄時にご注意願います

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式／液晶式／プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- 本機を廃棄（または譲渡）する場合には、設定メニュー「出荷時設定にリセット」を行なって、本機内の個人情報を消去してください。
- NHKや有料放送の契約がある場合は、各放送局に解約または変更の連絡をしてから、廃棄（または譲渡）をしてください。

ご使用になる前に

無線接続 (Bluetooth/Wi-Fi) について

本機はBluetoothおよびWi-Fiの無線通信技術を搭載しています。

電波に関する注意事項 （主に2.4GHz帯）

本機の使用周波数帯域では、産業･科学･医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局などが運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN機器（IEEE802.11b/g/n）は、同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して（10m程度）使用します。
- 本機はすべてのBluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5GHz帯利用に関する注意事項

5.2GHz帯および5.3GHz帯のWi-Fi屋外利用は禁止されています。

（5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局または地上移動中継局と通信する場合を除く）

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ･病院など医療機関、電車･航空機
- ･自動ドアや火災報知機の周辺
- ･心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。

無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能、および無線LAN(Wi-Fi)機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

地上デジタル放送について

- UHFアンテナで受信できます。
- ケーブルテレビでも地上デジタル放送を受信できます。ご契約、またはご契約予定のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

※本機では、部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

BS・110度CSデジタル放送について

- 視聴するには110度CS対応BSデジタルアンテナが必要です。
- BSデジタル放送は放送衛星を使用して送信され、一部のチャンネルは有料放送となっています。有料放送を視聴するにはご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

お知らせ

地上デジタル･BS･110度CSデジタル放送には、以下の3種類の放送があります。

- ●テレビ放送： 従来のテレビ放送です。
- ●データ放送： お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。dボタンを押すとデータ放送を表示できます。
- ●ラジオ放送： 音声を主とした放送です。
  地上デジタル放送では、現在ラジオ放送を休止しています。（2011年3月以降）

※本機は、データ放送のHybridcast（ハイブリッドキャスト）については動作を保証しておりません。

USBメモリーについて

USBメモリー

- ファイルシステム　FAT32
- USB2.0対応

本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

- 本機で使用できるUSBメモリーは32GB以下です。
- USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- 本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

B-CAS カードについて

デジタル放送を視聴していただくために、付属しているminiB-CAS（ミニビーキャス）カードは、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、速やかに（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。

お客様の責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

乾電池について

乾電池を扱うときには

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- 極性表示を間違えないで挿入する。
- 水や火の中に入れたり、充電･加熱･分解･ショートしない。
- 液もれがおきたら使用しない。
  乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
  万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。
- 使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

著作権について

・本機でお客様がインターネットなどから録音･ダウンロードしたものやテレビの映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱･故障･その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障･誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害および録音･再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

記録されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

使用されたUSBメモリーなどが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となり、当社は一切の責任を負いません。

目　次

● はじめに

安全上のご注意 **2**
使用上のご注意とお願い **5**
- 輝点・欠点について 5
- お手入れについて 5
- 輸送について 5
- 本機の温度について 5
- 室内温度について 5
- バックライトについて 5
- 連続使用について 5
- 廃棄時にご注意願います 5

ご使用になる前に **6**

● 準備

付属品を確認する **8**
各部の名称 (本体) **10**
- 本体前面 10
- 本体背面 10
- 入出力端子部 11
- 操作部 11

各部の名称 (リモコン) **12**
- リモコン 12

準備 **13**
- リモコンの電池の取り付け 13

設置 **14**
- スタンドの取り付け 14
- 転倒防止の処置 15
- 壁掛・モニターアームなどへの取り付け 16
- インターネットの接続 17
- B-CAS カードの取り付け 17
- アンテナを接続する 18
- アンテナ線のつなぎかた 18
- 外部機器の接続 19

電源ボタン **20**
- 電源を接続する 20
- 電源を入れる 20
- 電源を切る 20

初期設定のしかた **21**
- 初期設定 21
- テレビ放送受信の設定 24

● 基本の操作

スマートテレビの操作 **26**
- ホーム画面の操作のしかた 26
- テレビ放送を表示する 26
- アプリの追加（インストール） 27
- アプリの削除（アンインストール） 27
- ライブラリ 28
- 映画・番組アプリなど検索する 28
- 様々な設定 28
- 搭載されているアプリ 29

テレビの操作 **30**
- テレビ放送を観る 30
- 番組表を確認する 31
- 視聴予約をする 31
- 視聴予約を確認する・変更をする 32
- 連動データ放送を楽しむ 33
- データ放送について 33
- 双方向サービスについて 33
- スリープタイマーを使う 34
- 省エネ設定をする 34
- ディスプレイオフ機能を使う 34

外部接続機器を表示する **35**
- 入力切換をする 35
- Google アシスタントのペアリング 35
- Bluetooth の設定 35

録画・予約機能について **36**
- 録画できる機器と番組 36
- 接続・設定と録画前の準備 36

録画用 USB ハードディスクの接続をする **37**
- USB ハードディスクを接続する 37
- USB ハードディスクを登録する 37
- USB ハードディスクの設定をする 38

録画をする **39**
- すぐに録画を開始する 39
- 番組単位で録画をする 39
- 日時を指定して予約する 40
- 録画予約を確認する・変更をする 41
- 録画を中止する 41

録画した番組を再生する **42**
- 録画した番組の再生のしかた 42

メディアプレーヤーの使用 **44**
- USB メモリーの閲覧 44

● 調整と設定

各種設定 **46**
- 設定できる項目 46
- 設定できる項目（テレビ設定） 49
- 設定できる項目（外部入力） 50

アップデートのしかた **52**
- ソフトウェアをアップデートする 52

対応する HDMI 入力映像フォーマット **52**

● その他

故障かな？と思ったら **53**
主な仕様 **56**
保証とアフターサービス **59**

商標とライセンス

Google関連
Google、YouTube、Google TV、Google Cast は Google LLC の商標です。

Netflix
Netflix視聴プランのメンバーシップが必要です。4K視聴については、Netflix視聴プラン、インターネットサービス、デバイス機能、利用可能なコンテンツによって異なります。詳細は www.netflix.com/TermsOfUseをご覧ください。

Prime Video
Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com,Inc.またはその関連会社の商標です。

Dolby
Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。Dolby Vision IQはドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権©2012-2022年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

HDMI
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

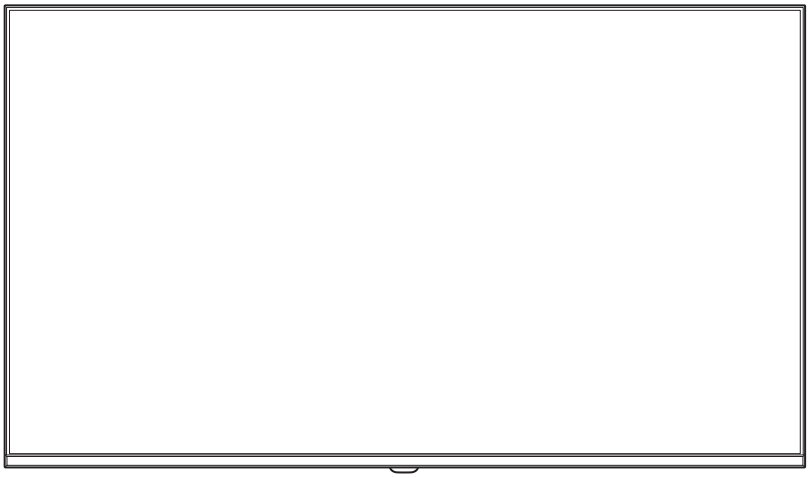
Bluetooth
Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
株式会社ドウシシャは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

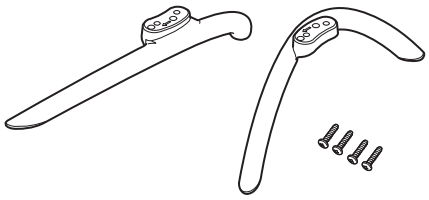
付属品を確認する

本製品をご購入時には、以下のものが含まれています。すべて揃っているかご確認ください。

本体

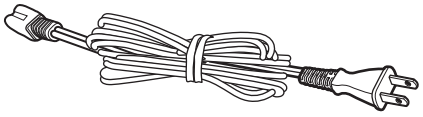


スタンド



スタンド×2、スタンド取付用ネジ×4

電源コード

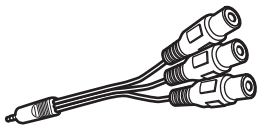


電源コード×1

転倒防止用フック

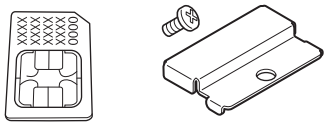
転倒防止用フック×2 (本体取付済)、ネジ×2 (本体取付済)

ビデオ入力用変換ケーブル



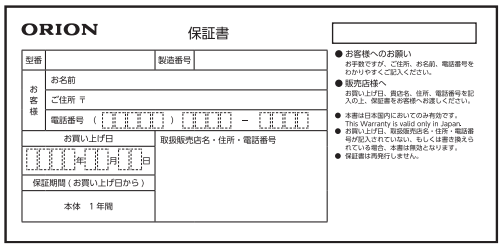
ビデオ入力用変換ケーブル×1

B-CASカード



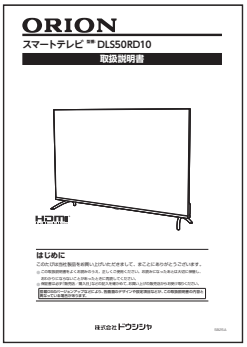
B−CASカード×1、B−CASカードカバー×1、固定ネジ×1

保証書



保証書×1（記載内容は機種によって違いがあります）

取扱説明書



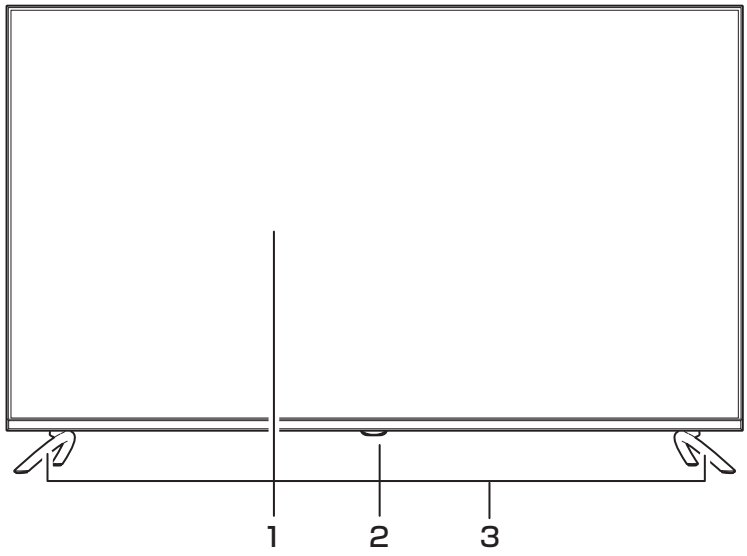
取扱説明書×1

リモコン

リモコン×1、単4形乾電池×2

各部の名称（本体）

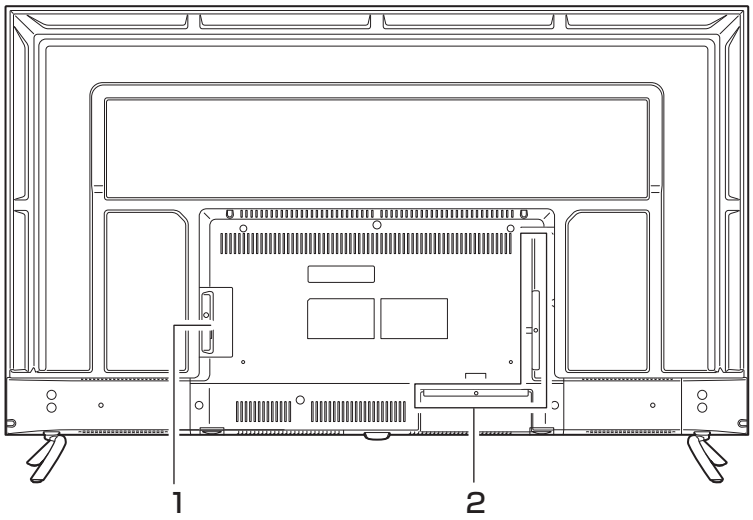
本体前面



1 液晶画面
2 操作部・電源ランプ
　リモコン受光部
3 スタンド

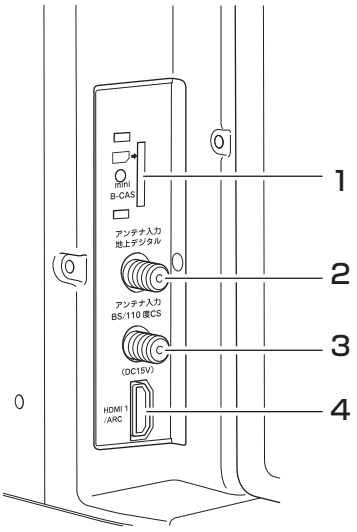
電源切：赤色点灯
電源入：緑色点灯

本体背面

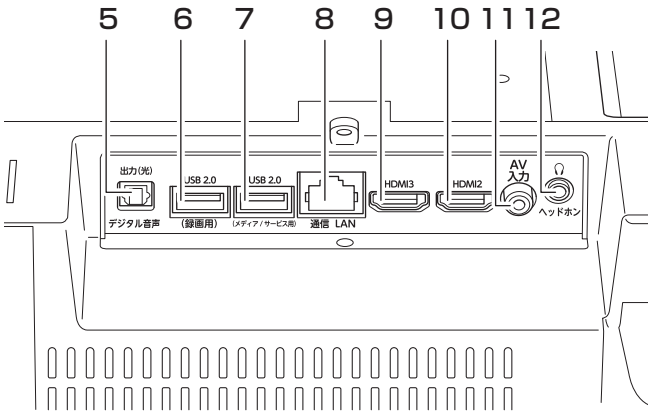


1 電源端子
2 入出力端子部

入出力端子部



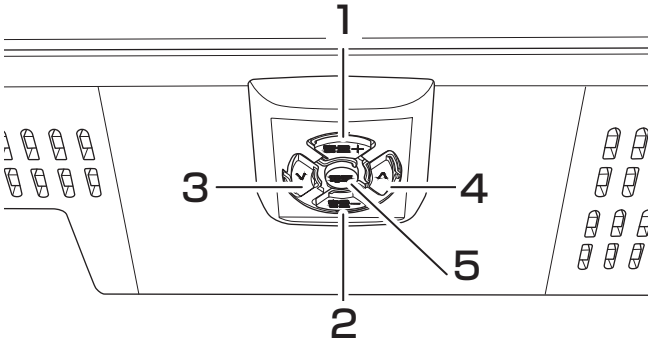
1 B-CASカード挿入部
2 地上デジタルアンテナ入力端子
3 BS/110度CSアンテナ入力端子
4 HDMI 1/ARC入力端子



5 デジタル音声出力端子(光)
6 USB端子(録画用)
7 USB端子(メディア/サービス用)
8 LAN端子
9 HDMI 3入力端子
10 HDMI 2入力端子
11 AV入力端子
12 ヘッドホン端子

操作部

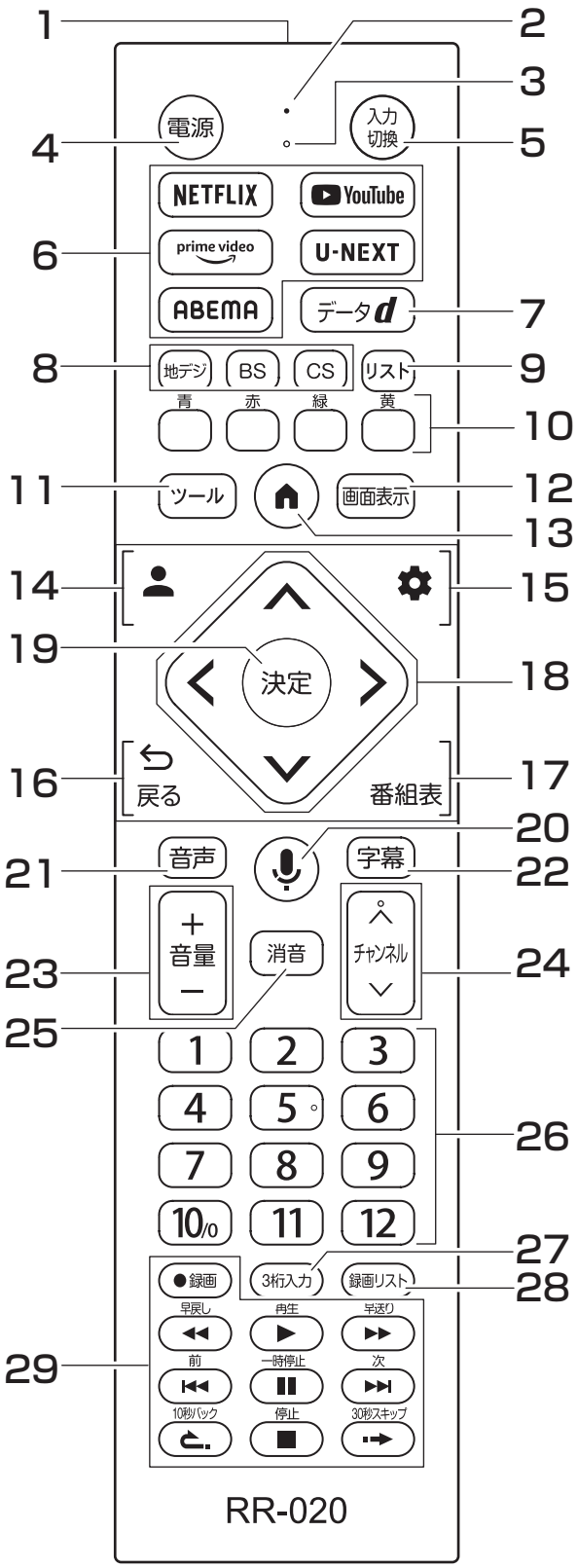
《画面側》



1 音量 + ボタン
2 音量 − ボタン
3 チャンネル ﹀ ボタン
4 チャンネル ﹿ ボタン
5 電源ボタン

各部の名称 (リモコン)

リモコン



1 **送信部**
本機へ信号を送信します

2 **インジケータライト**
Googleアシスタントの状態を表示します。赤色点灯しているときに、音声入力ができます。

3 **マイク**
Googleアシスタント用のマイクです

4 (電源) **電源ボタン**
本機の電源を「入」「切」(切／スタンバイ)します。

5 (入力切換) **入力切換ボタン**
接続した入力機器などの切り換え画面を表示します。

6 (NETFLIX) (YouTube) (prime video) (U-NEXT) (ABEMA) **VODダイレクトボタン**
ボタンに設定されているVODアプリを開くことができます。

7 (データd) **dボタン**
データ放送を表示します。

8 (地デジ) (BS) (CS) **放送切換ボタン**
放送の電波を選択します。

9 (リスト) **リストボタン**
チャンネルリスト(放送中の番組名)を表示します。

10 (青) (赤) (緑) (黄) **青赤緑黄ボタン**
各種操作･アプリ上で使用します。

11 (ツール) **ツールボタン**
テレビ設定画面を表示しテレビ関係の操作をします。

12 (画面表示) **画面表示ボタン**
情報･時刻の表示を切り換えます。

13 (ホーム) **ホームボタン**
ホーム画面に戻ります。

14 **Googleアカウントボタン**
Googleアカウントの変更／登録をします。

15 **設定ボタン**
各種設定をする設定画面を表示します。

16 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているときに、1つ前の画面に戻ります。

17 (番組表) **番組表ボタン**
番組表を表示します。

18 **方向ボタン**
画面上のカーソルを操作したりメニューの項目を選択します。

19 (決定) **決定ボタン**
メニュー画面など方向ボタンで選択した項目を決定します。

20 **Googleアシスタントボタン**
Googleアシスタントを起動し、音声入力ができるようになります。

21 (音声) **音声ボタン**
音声を切り換えます。

22 (字幕) **字幕ボタン**
字幕放送のときに字幕を切り換えます。

23 (− 音量 +) **音量＋／−ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

24 (∨ チャンネル ∧) **チャンネルボタン**
チャンネルを順送り･逆送りします。

25 (消音) **消音ボタン**
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。

26 **数字ボタン**
数字の入力と、チャンネルをダイレクトに選局します。

27 (3桁入力) **3桁入力ボタン**
チャンネルを3桁の番号を入力して切り換えます。

28 (録画リスト) **録画リストボタン**
録画した番組のリストを表示します。

29 (◀◀) (▶) (❚❚) (▶▶) (⏮) (●録画) (■) (⏭) (↩) (■▶) **録画再生コントロールボタン**
録画した番組のほか一部アプリでも使用できます。

準 備

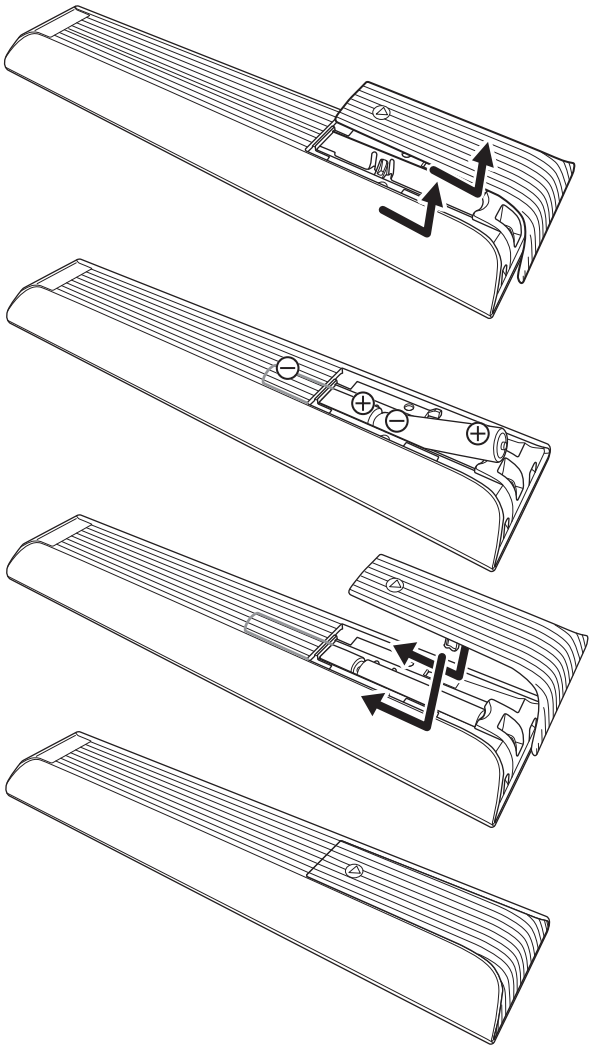
リモコンの電池の取り付け

付属の乾電池をリモコンの裏面の電池ケースに取り付けてください。

1 **リモコン裏面の電池ぶたを手前に引いて取りはずす**

2 **乾電池の⊕⊖極の方向に注意して、乾電池を入れる**
⊖極側を先に入れてください

3 **電池ぶたを元の位置に取り付ける**
リモコン側の凹みに合わせて取り付け、電池ぶたを全体的に動かして取り付けてください。



⚠ご注意

- 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい方向に入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
- 付属の乾電池はお試し用です。早めに新しい乾電池と入れ換えてください。

設 置

スタンドの取り付け

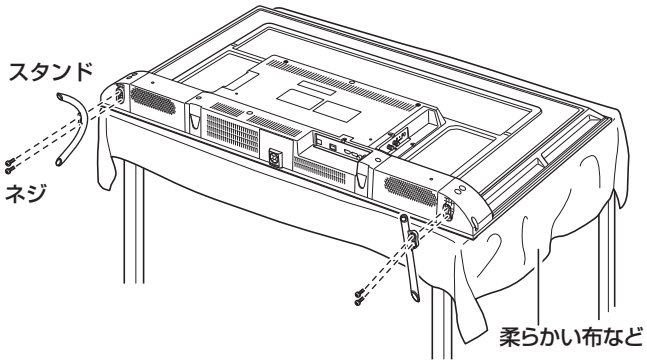
本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

1 **台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く**

ふたりで本体を持ち上げてください。。

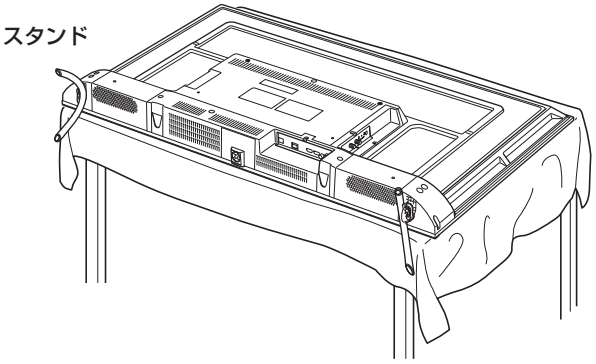
2 **右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属のネジで固定する**

スタンド取付部の形は、左右で違いがあります。
スタンド上部にある矢印マークを画面側にして取り付けてください。
お手持ちの適切な大きさの＋（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。



⚠ご注意

- スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。



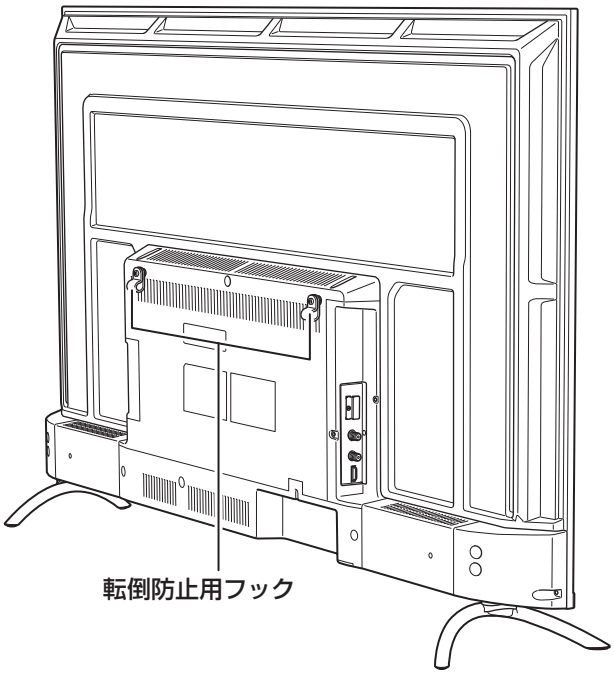
転倒防止の処置

地震などでの本体転倒によるけがや物損事故などの危害を軽減するため、市販の転倒防止用品などを使用して転倒防止の処置をしてください。
付属の転倒防止用フックは、下記のように使用してください。

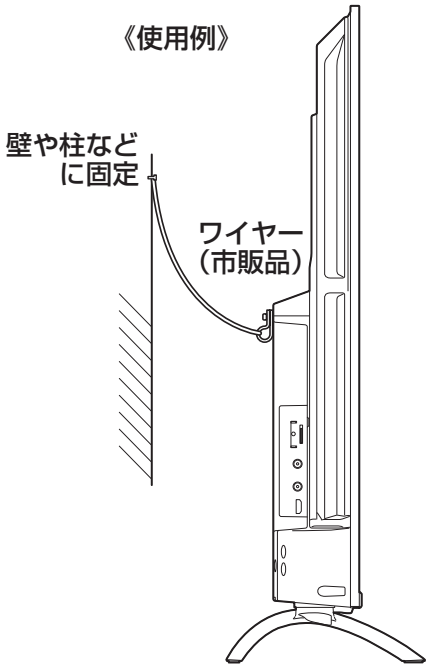
1 **転倒防止用フックに、丈夫なワイヤー（市販品）などを通して、壁などにしっかりと固定する**

⚠ご注意

- ワイヤーなどの市販品を使用してしっかりとした壁や柱（梁や吊り束、桁）などに固定してください。
- 壁や柱などの強度によっては、転倒防止効果が大幅に減少することがありますので、その場合は適切な補強を施してください。
- 転倒防止の処置は、けがや物損事故などの危害を軽減するためのもので、すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。



《使用例》



設 置 （つづき）

壁掛・モニターアームなどへの取り付け

本機は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けたり、モニターアームなどへも取り付けることができます。

- **本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。**
- **壁への取り付けが不完全または誤った取り付けかたをすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。**

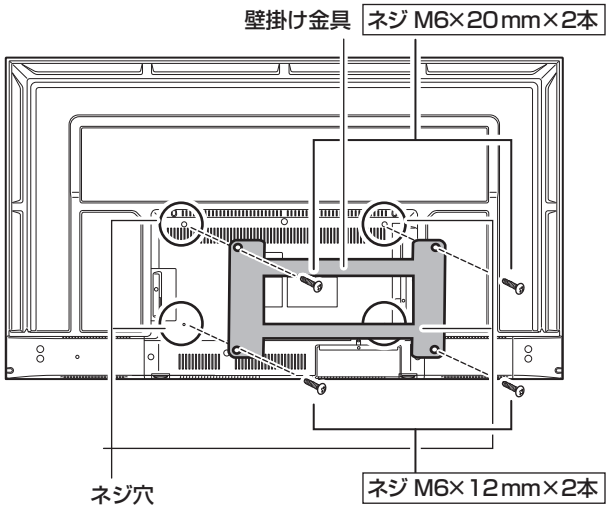
お知らせ

VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください（電源コード、接続するHDMIケーブルなどの重量も考慮してください）。
ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調節してください。
下記の条件に合った金具をご使用ください。

DLS50RD10	
ネジ穴寸法：	**400 mm×200 mm（VESA規格）**
耐荷重：	**8.4 kg以上**
取り付けネジ：	**上：M6 × 20 mm × 2本（市販品）** **下：M6 × 12 mm × 2本（市販品）**

⚠ご注意

- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します（ワッシャーを入れて調節ください）。
- 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。油分によりキャビネットの強度が低下し、本機が落下するおそれがあります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。
- 電源コードの位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取りはずしてください。
- 取りはずしたスタンドとスタンド取付用ネジは大切に保管してください。



インターネットの接続

本機を利用するためには、インターネットに接続する必要があります。
あらかじめプロバイダー契約など、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

有線で接続する場合

有線で接続する場合は、自宅のルーターとLANケーブルでイーサネット接続をします。

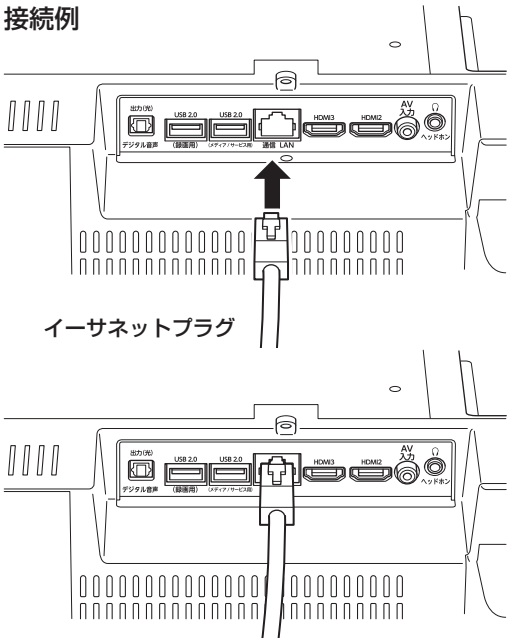
・LANケーブルは長さに余裕を持った接続をしてください。
・イーサネットのプラグを差し込んだとき、「カチッ」と音がしてロックされ、はずれないようになっていることを確認してください。

無線(Wi-Fi)で接続する場合

無線で接続する場合は、自宅のWi-Fiルーターなどを準備し、接続します。

・Wi-Fi機器からできるだけ近い、安定して高速で接続できる位置で接続をしてください。

接続例



B-CAS カードの取り付け

本機でデジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードが必要です。付属のminiB-CASカードを常にB-CASカードスロットに入れておいてください。

⚠ご注意

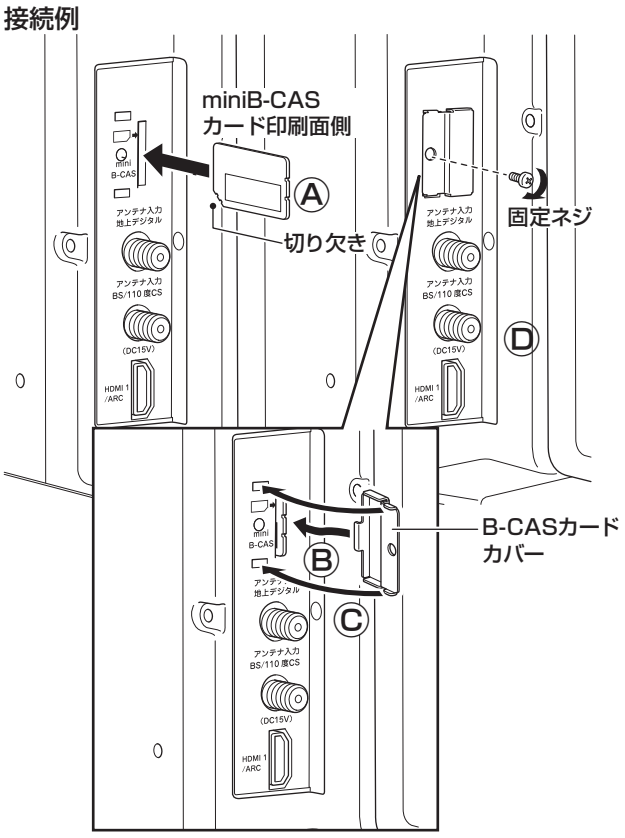
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で miniB-CAS カードの抜き差しを行なってください。miniB-CAS カードを挿入するときは、カードの向きにご注意ください。切り欠きが下になるようにしっかりと挿入してください。
- miniB-CAS カードを挿入するときは、「カチッ」という音がするまで確実に挿入してください。挿入が不十分だと、カードが正常に認識されません。
- miniB-CAS カードを挿入するときに、miniB-CAS カードの金色端子部に決して指で触れないよう注意してください。もし触れたときは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 間違った差し込みによる miniB-CAS カードの破損、紛失などの場合は、製品保証期間内でもお客様の費用負担（有償）となりますのでご注意ください。

B-CAS カードカバーを取り付ける

miniB-CASカードの脱落や紛失を防止するためのカバーが付属しています。

・miniB-CASカードを正しく取り付けるⒶ。
・右図のようにB-CASカードカバーの中の足を本体画面側の穴に取り付けますⒷ。そのままminiB-CASカードにかぶせるように倒して、ふたつの足を本体に取り付けますⒸ。
・B-CASカードカバーの上から付属のネジを取り付けるⒹ。

接続例



設 置（つづき）

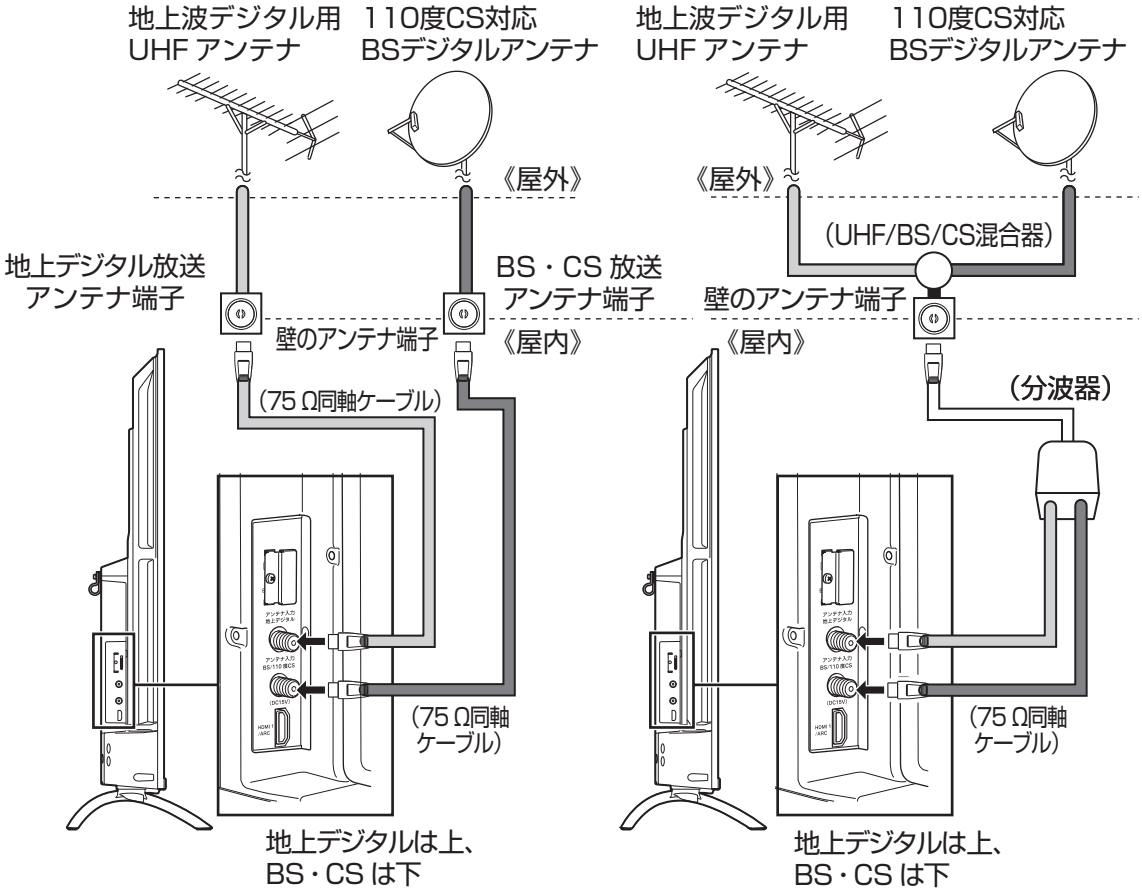
アンテナを接続する

⚠ご注意

- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ご使用になるアンテナプラグは、タイプAの形状を推奨します。タイプBの形状はアンテナ端子への接続がしにくいものがありますので、ご注意ください。

アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送を視聴するにはUHF対応のアンテナ、BS・110度CSデジタル放送を視聴するには110度CS対応BSデジタルアンテナを使用してください。
お使いのアンテナがUHF対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り換えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。
接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。



● UHF アンテナ・BS・CS アンテナが個別のとき　●UHF･BS･CSが混合のとき（例:UHF/BS混合入力）

お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが足りないときはブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 従来のBSアナログアンテナでは110度CSデジタル放送を受信することはできません。BSデジタル放送は受信することができますが、一部のアンテナにはデジタル放送を受信するための機能が付いていないことがあります。特定のチャンネルが受信できなかったり受信状況が悪いときには、ドウシシャカスタマーセンターにご相談ください。
- 本機ではBS･110度CSによる4K･8K放送は受信できません。

外部機器の接続

■ パソコンの接続

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号を入力してください（本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります）。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

■ 接続ケーブル

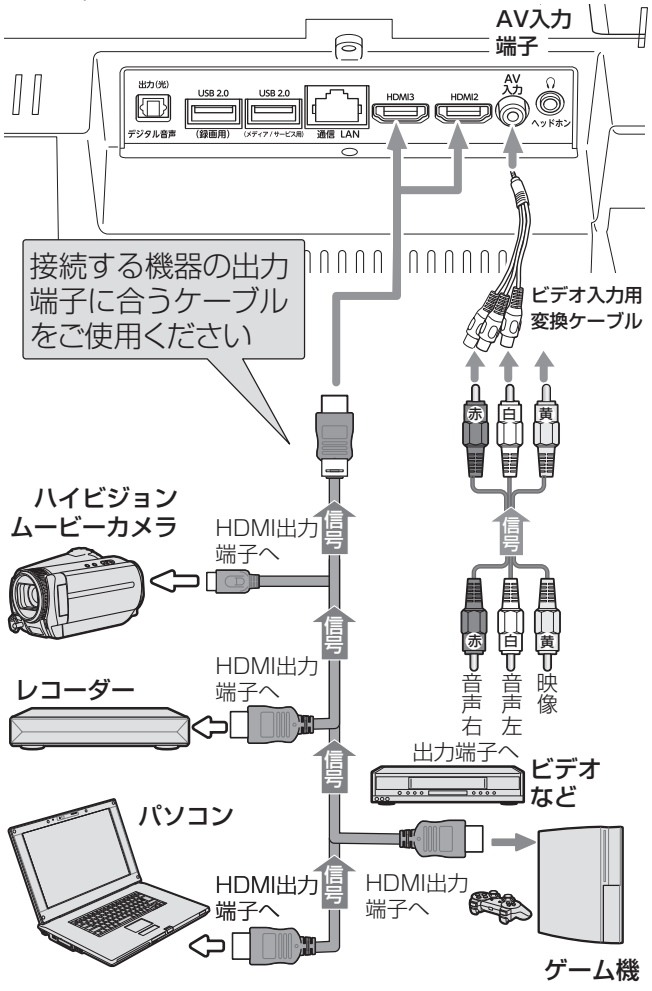
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。

■ AV 機器の接続

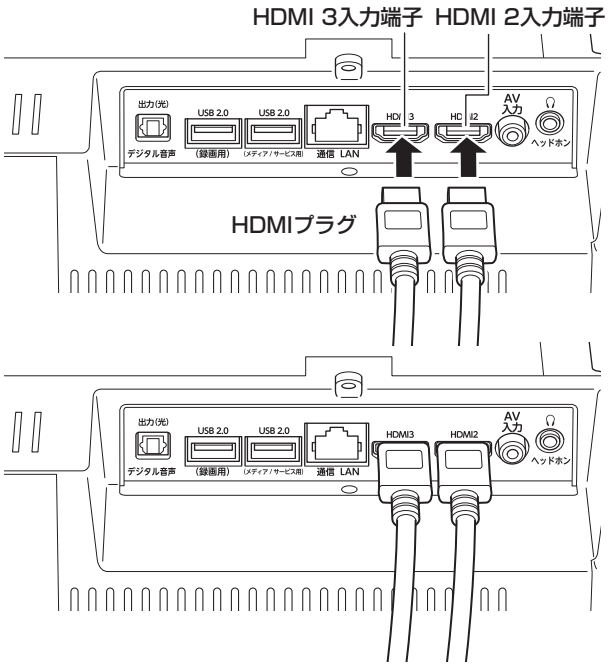
- AV入力端子を使用する場合は、付属の**ビデオ入力用変換ケーブル**をAV入力端子に接続し、赤·白·黄色の側に接続してください。

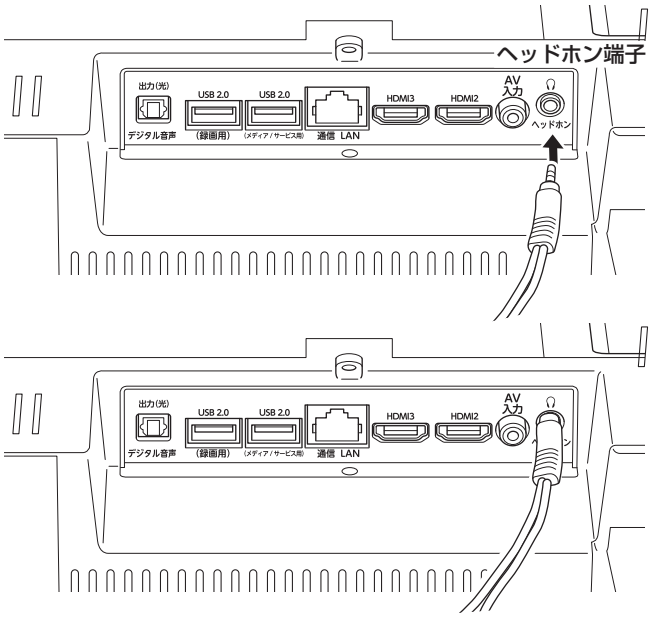
■ オーディオ出力

- スピーカーなど接続するときは、本体下部にあるデジタル音声出力端子（光）や、HDMI1/ARC端子（側面にあります）、ヘッドホン端子を使用してください。



接続例





⚠ご注意

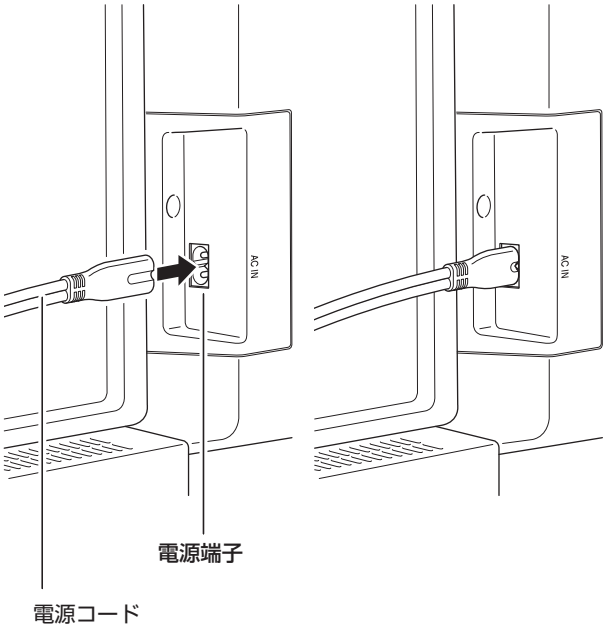
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源ボタン

電源を接続する

1 **電源プラグをコンセントに接続する**
本体前面の電源ランプが赤色に点灯します。

壁掛をする場合など、取り付けにくくなることがあるため、早めに取り付けておいてください（電源コードの先、コンセントまでの距離も考慮ください）。

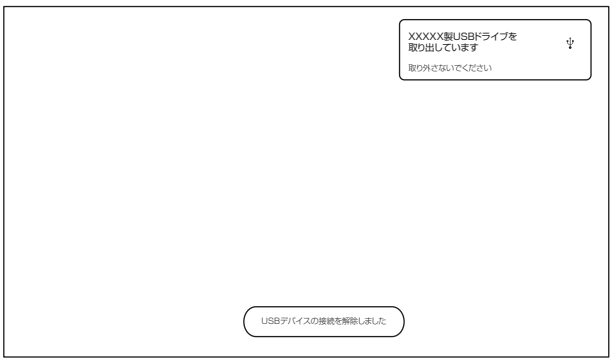


電源を入れる

1 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**
本体前面の電源ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。

HDDやUSBメモリーなど接続している状態で、電源を入れたときに、右のようなHDDを読み込むメニューが表示されます。

- ⮌戻るボタンを押すことで画面表示を消すことができます。



電源を切る

1 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**
本体前面の電源ランプが赤色点灯し、電源が切れます。

リモコンの電源ボタンを長押しすると、電源をシャットダウンします。起動に時間がかかります。

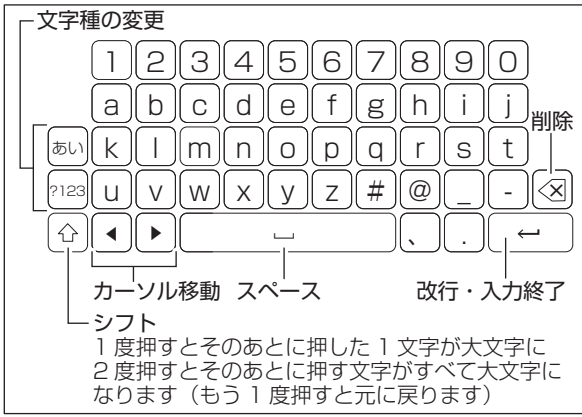
普通にリモコンの電源ボタン、または本体の電源ボタンを押すと、スタンバイ状態になり、比較的はやく起動します。

⚠ご注意

- 本体を移動させたりするときや長期保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

初期設定のしかた

キーボードの使いかた



このボタンを押すたびに変化します

かな表示 大⇔小 《例》 つ→っ→づ→つ　う→ぅ→ゔ→う　は→ば→ぱ→は

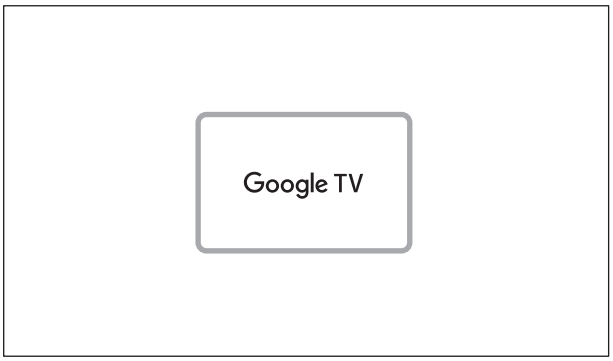
※カタカナは直接入力できません（変換で対応）

本機のUSB端子にキーボードを接続することにより、スムーズに文字入力が可能になります。
キーボード配列はUS配列となり（日本のPC用とは異なります）、「@」はShift+2で入力します。
接続したキーボードによって機能が異なり、対応したアプリをインストールする必要があります。

初めて電源を入れたときに初期設定が表示されます。**搭載されるGoogleのシステムのバージョンが変わることによって初期設定のしかたが変更になることがあります。**

初期設定

接続状態などによって表示されない項目、別の表示が出る項目もあります。



1 電源を入れる

2 言語を設定する

使用する言語を設定します。

- ◈方向ボタンで選択、決定ボタンを押してください。

※「日本語」に設定することを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

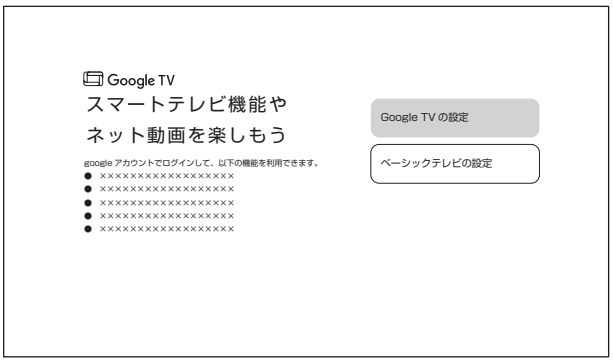
3 GoogleTV の設定をする

「GoogleTV の設定」を選択します。

- ◈方向ボタンで選択、決定ボタンを押してください。

「GoogleTV」スマートテレビ機能などの設定をします。
「ベーシックテレビの設定」テレビ放送の受信などの設定をします。

※「GoogleTV」に設定することを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。「GoogleTV」を選択しても、テレビ放送の受信設定なども行なわれます。



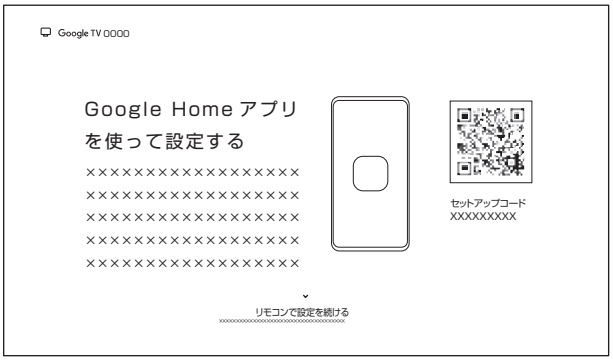
3 Google アカウント設定方法を設定する

お手持ちのスマートフォン･タブレット（「GoogleHomeアプリ」が動作するもの）、または付属のリモコンで設定することができます。

- ◈方向ボタンで選択、決定ボタンを押してください。

一番下にある「**リモコンで設定を続ける**」でリモコンでの設定をします。

- スマートフォン･タブレットで設定するときは、画面の二次元コードから「GoogleHomeアプリ」をインストールし、表示画面に従って設定を進めてください。



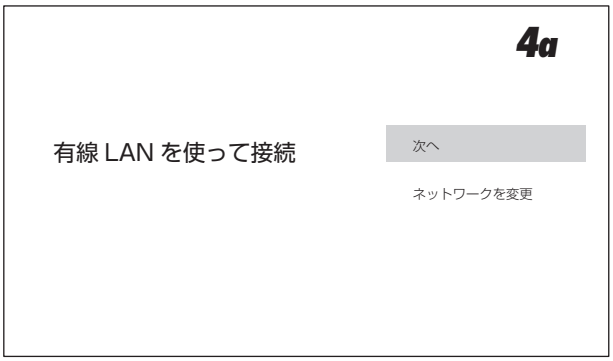
次ページにつづく

初期設定のしかた（つづき）

4 **ネットワーク接続を設定する**
それぞれあとで設定・設定しなおすこともできます。

4a **イーサネット接続をしていると、「有線LANを使って接続」と表示される**

- そのまま有線LAN（イーサネット）で接続する場合は「次へ」を選択します。
- 無線LANを接続する場合は、「ネットワークを変更」を選択すると、手順***4b***の表示が出ます。



4b **イーサネット接続をしていないと、「Wi-Fiネットワークの選択」と表示される**
接続したい Wi-Fi ネットワーク（SSID）を選択してください。

Wi-Fiネットワークを選択すると、「《Wi-Fiネットワーク名》のパスワードを入力してください」と表示されるのでパスワードを入力する
画面上に表示されるキーボードを使用して入力してください（USB接続したキーボードも使用できます）。

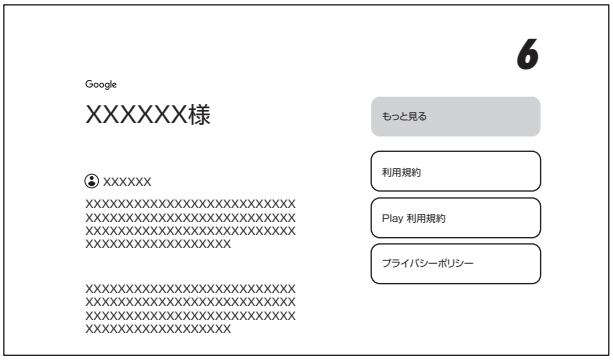
- SSIDとパスワードは、特別に設定しなおしていない場合、無線LANのルーターに記載されていますので、確認してください。

5 **Google のログイン設定する**
Google のアカウント (Gmail などで使用するアカウント) をお持ちの場合は、「ログイン」を押します。
※お持ちでない場合でも、次の画面でアカウント設定をすることができます。

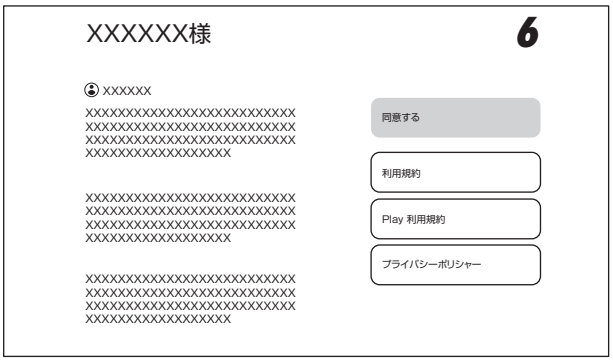
Googleアカウント名・パスワードを入力してください

Googleアカウントをお持ちでない場合は、
↩戻るボタンを押すとキーボードが隠れますので、「アカウントを作成」を選択してください。
Googleアカウント作成画面になります。詳細を入力してアカウントを作成してください。
※ここで作成したアカウントとパスワードは大切なものですから、メモして残しておき、他人には教えないでください。

6 **利用規約画面が出るので、よく読んで「もっと見る」を押す**



「もっと見る」を選択すると、「同意する」が表示されるので、「同意する」を押す。



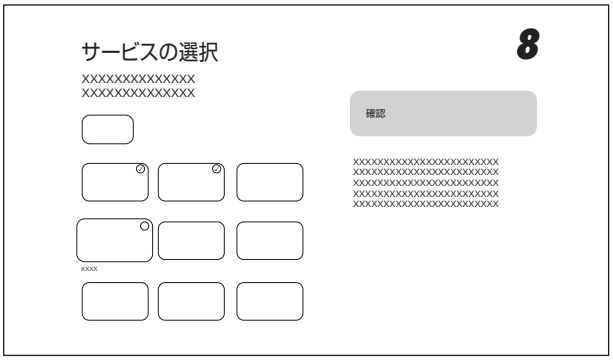
7 **Googleサービスの画面が出るのでよく読み、「同意する」を押す**

画面に従って、Googleアシスタントの各種設定をします。

8 **動画配信サービスの選択をする**

選択したアプリはGoogleアカウントにログインした際のおすすめの選定に使用されます（チェックマークを付けます・再度押すとチェックマークがはずれます）。

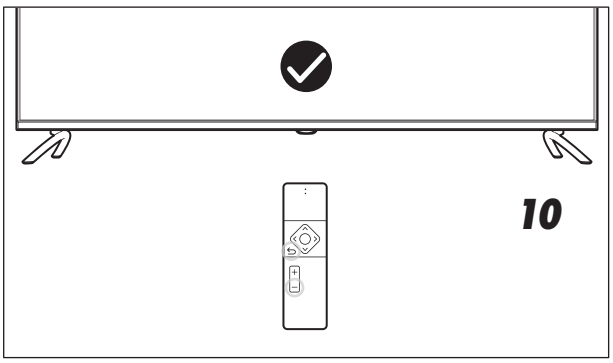
「確認」を押すと、選択したアプリがインストールされます。



9 **表示される「ネットワークのプライバシーポリシー」、「免責事項」「プライバシーポリシー」を読んでそれぞれ「同意する」を押す**

10 **画面に向けて、画面に表示されているようにリモコンの「↩戻る」ボタンと、「音量−」（− 音量 +音量+／−ボタンの「−」側）を押し続ける**

正しくリモコンが認識されると、画面上にチェックマーク、リモコン上のインジケータライトが赤色に点灯します。



次ページにつづく

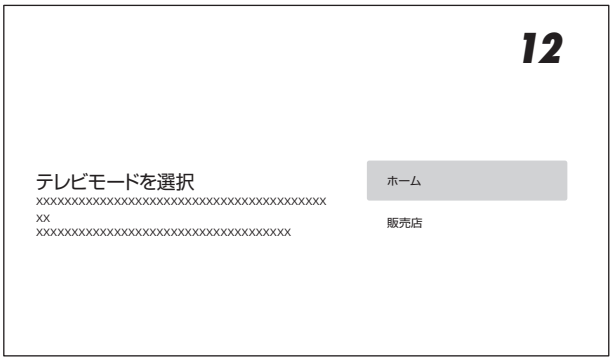
初期設定のしかた（つづき）

11 パスワードを設定する

「0000」以外で数字４桁のパスワードを設定してください。
入力後、「パスワードの確認」と出ますので、確認のため再度入力すると、画面下に「パスワードを設定しました。」と表示されます。

12 テレビモードを設定する

通常「ホーム」を選択してください。



13 省エネ設定を設定する

「省エネモード」に設定します。

「Google Cast Built-in」は、GoogleCast（使用しているスマートフォンを専用のリモコンとして使用する）を使用している場合など設定します。スタンバイ状態でも GoogleCast が使用できます。

「ネットワークのみでウェイクアップ」外部からネットワークを介して本機を操作する場合に設定します

テレビ放送受信の設定

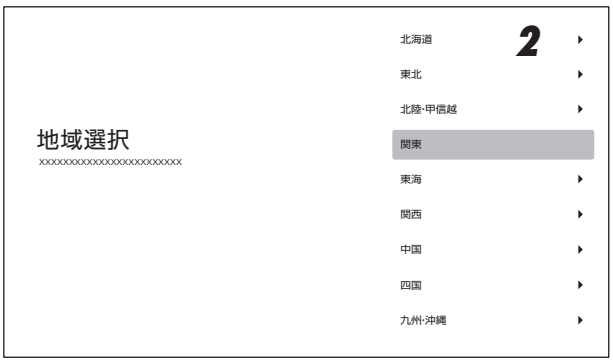
以下はテレビの受信設定になります（あとで設定画面から設定することもできます）。
現在放送されている電波を順に受信していきますので、確実にチャンネル設定をするためには、放送を停止している局がある平日深夜（NHKのEテレなど）や日曜深夜を避けて全局放送している時間帯に行なってください。

1 郵便番号設定をする

本機を設置している場所の郵便番号を入力してください。
リモコンの数字ボタンまたは◈方向ボタンと㊎決定ボタンを使って入力してください。

2 地域の選択をする

お住まいの地域の設定のため、地域を選択して設定してください。

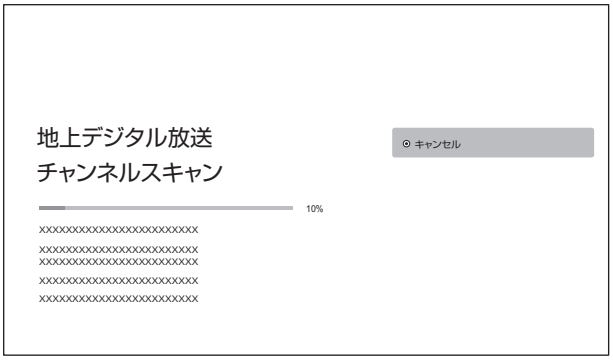


3 地域、受信帯域の設定

お住まいの地域、受信する電波を選択します。受信帯域は通常「UHF」ですが、わからないときは、「全帯域」を設定してください

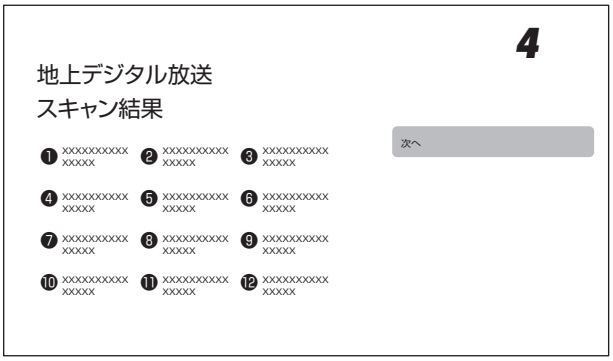
「次へ」を押すとスキャンが始まります

現在放送されている電波を順に受信していきますので、確実にチャンネル設定をするためには、放送を停止している局がある平日深夜（NHKのEテレなど）や日曜深夜を避けて全局放送している時間帯に行なってください。



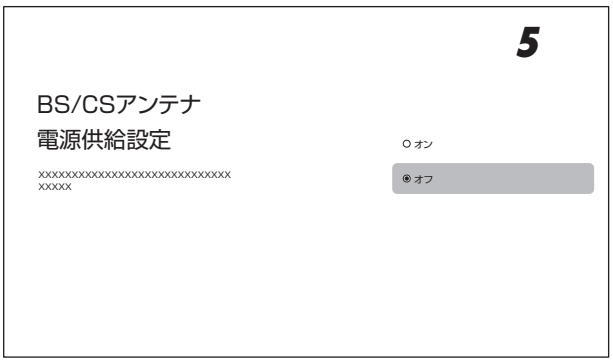
4 スキャン結果を確認

一覧が表示されますので確認し、普段見ているテレビ局が一覧にない場合は、のちほど設定画面から再度設定しなおしてください。



5 BS/CSパラボラアンテナの電源の入/切を設定する

BS/CSを使用しない場合や、別の機器から電源を接続している場合、マンションなどで共有のアンテナを使用している場合は「オフ」を、本機のみ接続している場合など本機から電源を供給する場合は「オン」を設定します



6 GoogleTVの準備が終わりました

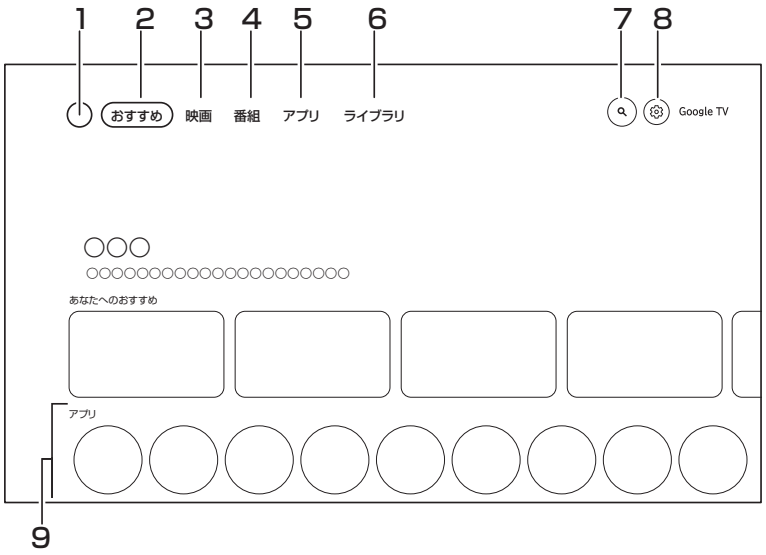
GoogleTVの設定が始まります。
左側にグラフが表示され、設定が終わると、GoogleTVのオプション機能に関する画面が表示されます。「Google TVに移動」を選択して㊎決定ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

スマートテレビの操作

ホーム画面の操作のしかた

ホーム画面からアプリを選択して動作させたり、設定を変更したり、新しいアプリをインストールしたりすることができます。
ホーム画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

《ホーム画面の例》



1 Googleアカウント
Googleアカウントボタンを押したときと同じ
2 おすすめ
3 映画
4 番組
5 アプリ画面
アプリを動作させることができます
6 ライブラリ
保存してあるファイルを観ることができます
7 文字検索　キーボード
8 設定
設定ボタンを押したときと同じ
9 アプリ
インストールされているアプリが表示されています

1 ◈方向ボタンで項目を選択する

2 選択した項目でまちがいないときは、決定ボタンで確定させる

3 ひとつ前の選択画面に戻るときは、戻るボタンを押す
内容によって戻ることができない項目もあります。

4 おすすめ番組の各プレビューを選択すると、アプリが立ち上がる
前もってアプリを立ち上げて会員登録など済ませておくと、スムーズに観ることができます。

5 ホーム画面に戻るときはホームボタンを押す

テレビ放送を表示する

ホーム画面からテレビ放送を表示するには、観たい放送のボタン(地デジ地デジボタン、BSBSボタン、CSCSボタン)を押してください。

アプリの追加（インストール）

本機に初めから搭載されているアプリ以外に、アプリ画面からアプリをダウンロードして使用することができます。Googleアシスタント（音声検索）機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります。

1 **アプリ画面を選択する**

◈方向ボタンでカーソルを「アプリ」に移動させてください。

2 **アプリ画面からアプリを探す**

カーソルを下に移動させると、メニューが「**アプリ**（既にインストール済のもの）」「**検索**」「**アプリのカテゴリ**」.....に変わります。

「検索」でアプリ名を入力して検索することができます。

アプリによっては。本機ではインストールできない場合や、正しく動作しない場合があります。

「アプリのカテゴリ」で、カテゴリ別にアプリを探すことができます。例えば「音楽&オーディオ」のカテゴリで音楽アプリを探すことができます。

下には、おすすめのアプリが並んでいます。

3 **アプリを選択すると、そのアプリの情報が表示されるのでよく読み、インストールするときはインストールボタンを押す**

インストールするのに支払が必要なアプリもあります。画面の指示にしたがって手続きを完了してください。

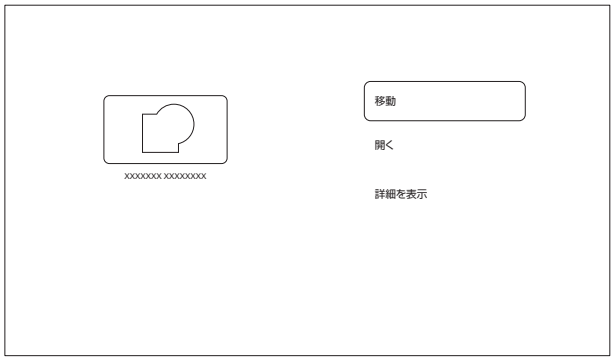
アプリによっては外部機器（コントローラーなど）の接続が必要なものもあります。

アプリの削除（アンインストール）

使用しなくなったアプリを削除することができます。

1 **アプリを選択し、（ツール）ツールボタンを押す**

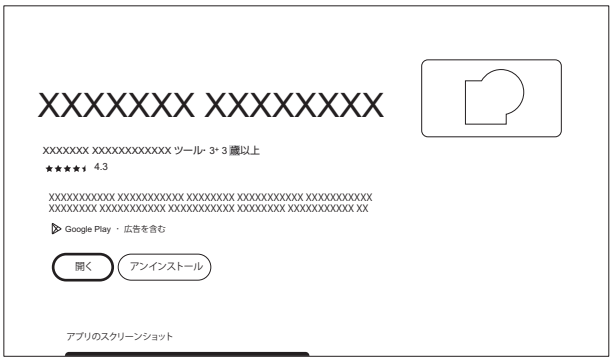
メニューが表示されます。



2 **「詳細を表示」を選択する**

3 **「アンインストール」を選択する**

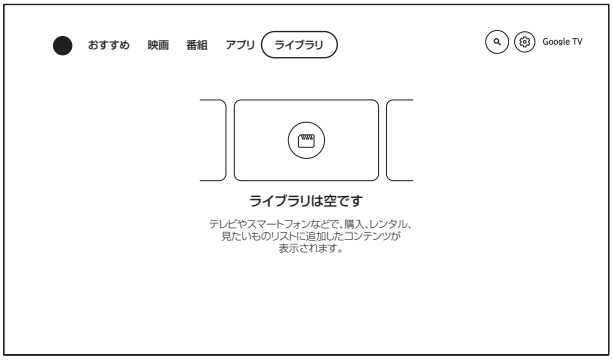
「詳細を表示」が表示されない場合、現在削除することができません。



スマートテレビの操作（つづき）

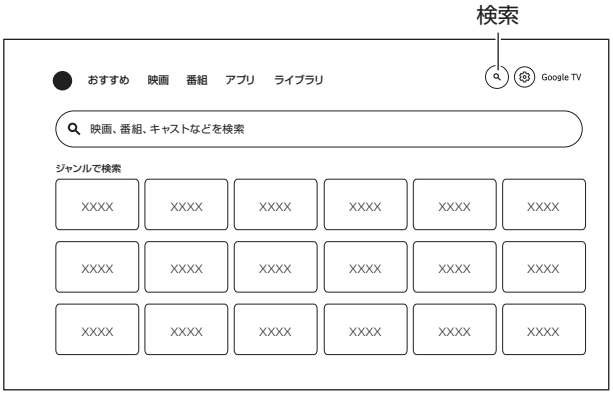
ライブラリ

設定しているアカウントでレンタル･購入したコンテンツがここに表示されます。



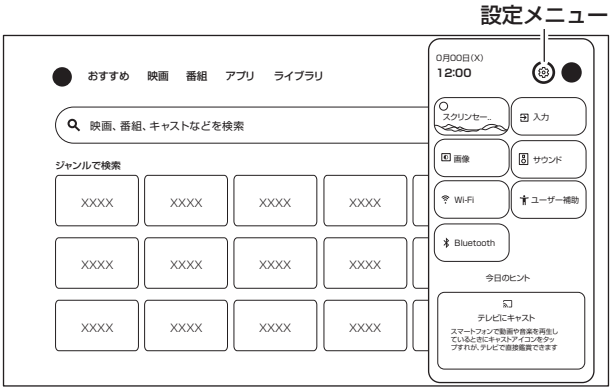
映画・番組アプリなど検索する

文字入力または🎙Googleアシスタントボタンを押してペアリングしたリモコンマイクに話しかけると、検索することができます。



様々な設定

使いかたに合った設定にすることができます。
画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。



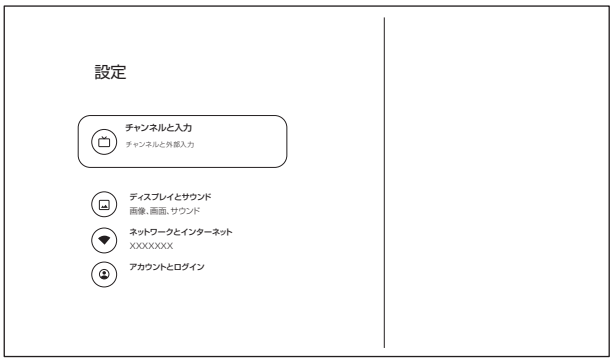
1 **ホーム画面から◈方向ボタン右で⚙設定メニューまで移動、もしくはリモコンの✿設定ボタンを押す**

画面右側にメニューが表示されます。

ここで表示されている、スクリーンセーバー、入力、画像、サウンド、Wi-Fi、ユーザー補助、Bluetoothは、それぞれのボタンを押すことにより、設定画面に入らなくても設定することができます。

2 **決定ボタンを押すと設定画面が表示されるので、内容を選択して設定する**

◈方向ボタン上下で選択し、◈方向ボタン右または決定ボタンでさらに詳細な内容を表示することができます。



3 **設定したあとは、⮌戻るボタン・◈方向ボタン左で1段階ずつ戻る、もしくはホームボタンを押してホーム画面に戻る**

搭載されているアプリ

本製品には最初から以下のアプリがインストールされています。

・ LiveTV
前回使用したテレビ放送、または外部入力に切り換わります。

・ ヘルプ
GoogleTVの機能や操作方法の簡単な説明を見ることができます。説明は参考です。本機とは異なる場合があります。

・ メディア
接続したUSBメモリーの画像などを表示するのに使用します。

・ マルチスクリーンシェア
スマートフォンのミラーリング機能でスマートフォンの画面を本機に表示します。
利用にはミラーリング機能に対応し、連携用アプリケーションが導入可能なスマートフォンが必要となります。スマートフォンに専用のアプリをインストールする必要があります。

・ NETFLIX
・ YouTube
・ PrimeVideo
・ U-NEXT
・ ABEMA
・ TVer
・ Hulu
・ Disney＋
・ YouTube Music

本書作成時点での表示内容をもとに説明しています。表示や動作についてはそれぞれアプリ･OSによるものなので、それぞれがアップデートされることにより、本書に記載してある内容から変更になっていることがあります。

テレビの操作

テレビ放送を観る

1 **観たい放送のボタン（地デジ地デジボタン、BSBSボタン、CSCSボタン）を押す**

2 **チャンネルを選局する**

1. 数字ボタンでチャンネルをダイレクトに選局する（チャンネル登録されていない数字ボタンもあります）
2. ∨ チャンネル ∧ チャンネルボタンで順（逆順）にチャンネルを選局する
3. 3桁入力 3桁入力ボタンを押してから、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力する
4. 番組表 番組表ボタンを押して番組表を表示し、現在放送中の番組を選択し、「選局する」を選択する

   ※番組表でサブチャンネルを表示するにはツール ツールボタンを押して、「サブチャンネル表示」を選択します。
5. テレビ番組受信中にリスト リストボタンを押して画面下にチャンネルリストを表示させ、◈ 方向ボタンで選局し、決定 決定ボタンで切り換える

   ◈ 方向ボタン上下で、地上波、BS、CSのチャンネルリストを選択できます。
6. 本体中央下のチャンネルボタンを押してチャンネルを選局する

3 **音声切換をするときは音声 音声ボタンを押す**

二か国語放送や解説放送の有無などの音声を切り換えることができます。

4 **字幕放送の入／切をするときは字幕 字幕ボタンを押す**

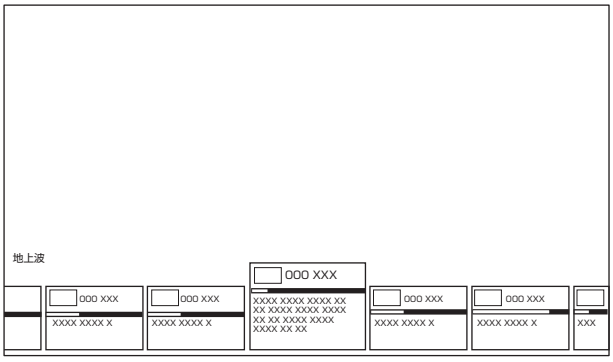
字幕放送のあるものを入／切することができます。

5 **連動データ放送を表示するときはデータ d dボタンを押す**

データ放送は放送局により表示される内容が異なります。画面に表示された操作指示に従ってください。

6 **現在視聴している放送番組情報などを確認するときは画面表示 画面表示ボタンを押す**

画面右上に放送局名・番組名・放送時間などが数秒表示されます。



リストボタンでの選局

番組表を確認する

1 番組表**番組表ボタンを押す**

現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。

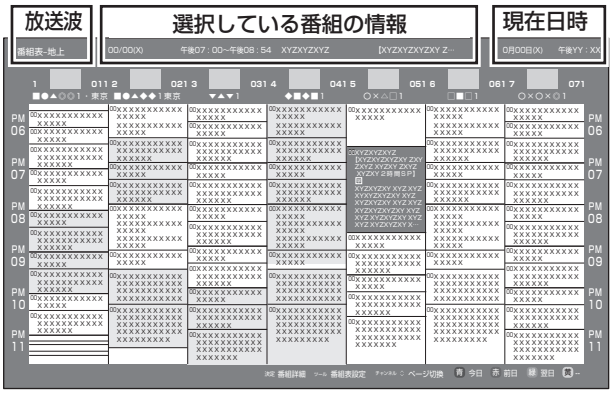
番組表は8日分表示することができます。

2 **観たい番組表のボタン（地デジ地デジボタン、BS BSボタン、CS CSボタン)を押す**

左上の放送波の部分が変化し、番組表が変わります。

3 **◇方向ボタンで番組を選択し、決定決定ボタンを押すと番組の詳細が表示される**

左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、∨ チャンネル ∧チャンネルボタンで上下させて読むことができます。



お知らせ

- 「はじめての設定」直後は、まだ番組情報を完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合は、毎日自動的に番組情報を取得します。

視聴予約をする

1 **放送視聴中に**番組表**番組表ボタンを押す**

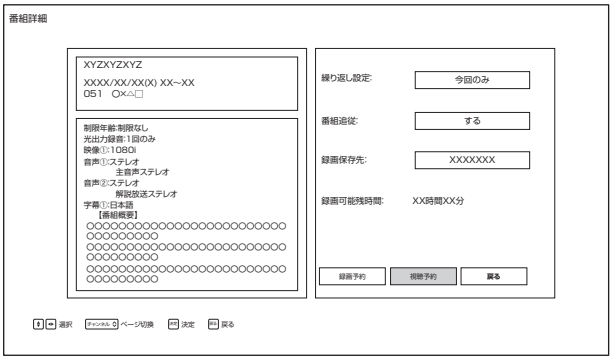
現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。

2 **視聴予約したい番組表のボタン（地デジボタン、BS BSボタン、CS CSボタン)を押す**

左上の放送波の部分が変化し、番組表が変わります。

3 **◇方向ボタンで番組を選択し、決定決定ボタンを押すと番組の詳細が表示される**

左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、∨ チャンネル ∧チャンネルボタンで上下させて読むことができます。



4 **画面右下の「録画予約」「視聴予約」「戻る」から◇方向ボタンで「視聴予約」を選択し、決定決定ボタンを押す**

同じ番組を毎日、毎週など視聴する場合は、決定決定ボタンを押す前に「繰り返し設定」をすると、定期的に同じ番組を視聴予約することができます。
（今回のみ／毎日／毎週／月～木／月～金／月～土）

「番組追従」は、スポーツ番組の延長などで、放送時間が変更されたときに録画時間を自動的に変更する機能です。番組にかかわらず、毎回同じ時間を希望する場合は、「しない」に設定してください。

5 **番組表に戻り、「この番組を視聴予約しました。」が表示される**

番組表の視聴予約した番組の左側に時計マークが付きます。

既に番組が放送中の場合は、その放送局に切り換わり、放送中の番組を表示します。

6 **設定した番組の時間になると、電源が入り、番組を視聴できるようになる**

既に電源が入っている状態では、チャンネルが切り換わり、視聴予約した番組になります。

※電源が完全に切れた状態（シャットダウンした状態）では、視聴予約機能は機能しません。

テレビの操作（つづき）

視聴予約を確認する・変更をする

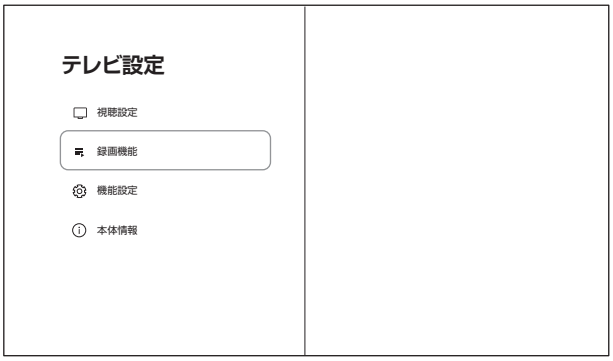
1 **放送視聴中に（ツール）ツールボタンを押す**

画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。

2 **テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「予約リスト」を選択する**

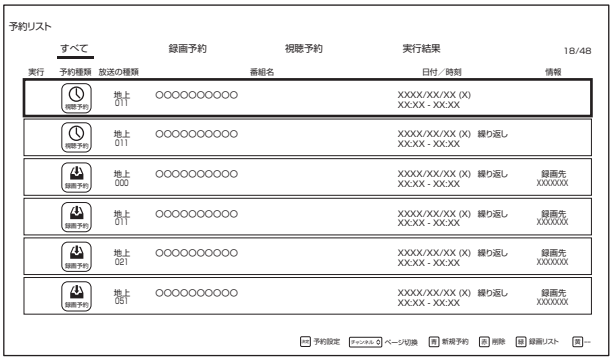
「すべて」が表示されており、視聴予約と録画予約の一覧が表示されます。

◈方向ボタン左右で「すべて」「録画予約」「視聴予約」「実行結果」を選択･表示できます。



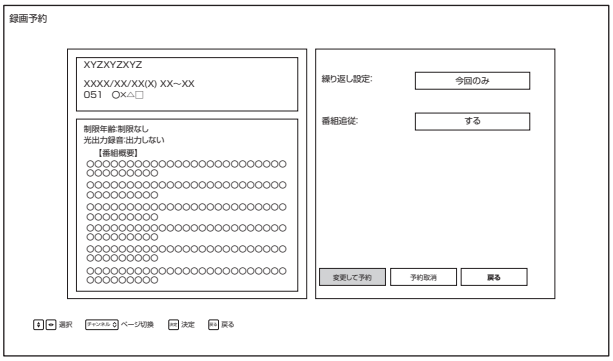
3 **◈方向ボタンで番組を選択し、（決定）決定ボタンを押すと番組の詳細が表示される**

左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、（∨ チャンネル ∧）チャンネルボタンで上下させて読むことができます。



4 **視聴予約を変更する場合、◈方向ボタンと（決定）決定ボタンで視聴予約を修正し、「変更して予約」ボタンを押す**

視聴予約をキャンセルするときは、右下の「予約取消」を押す、もしくは予約リストでキャンセルする予約を選択し、（赤）赤ボタンを押してください。



5 **確認後は⮌戻るボタンを押すと放送画面に戻る**

データ放送

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルでは、天気予報やニュース、番組案内などの連動データ放送を提供している場合があります。使用前にインターネットへの接続と設定を行なっておいてください。

1 **番組視聴中に(データd) d ボタンを押す**
放送局により表示される内容が異なります。
画面に表示された操作指示に従ってください。

2 **◇方向ボタンで移動し(決定)決定ボタンを押す**
選択した情報を見ることができます。

3 **(データd) d ボタンを押すと通常画面に戻る**

データ放送について

- デジタル放送は映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送を受信できます。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行なわれているデータ放送があります。

双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

- データ放送取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、(データd) d ボタンは「データ放送ボタン」、「データボタン」と表示される場合があります。
- 地上デジタル放送では現在ラジオ放送を休止しています。（2011 年 3 月以降）
- テレビ放送チャンネルとは独立した別チャンネルで行なわれているデータ放送の中には、本機で利用できないものもあります。
- USBハードディスクに録画した番組を再生している時、データ放送はご利用できません。

テレビの操作（つづき）

便利な機能

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「スタンバイ」の状態になり、設定はOFFに戻ります。

1 **設定ボタンを押して、決定ボタンを押す**
「システム」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す

2 **「電源と省エネ設定」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

3 **「電源」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

4 **「スリープタイマー」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

5 **方向ボタンで、電源を「切」にするまでの時間を選んで決定ボタンを押す**

省エネ設定をする

省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 **設定ボタンを押して、決定ボタンを押す**
「システム」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す

2 **「電源と省エネ設定」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

3 **各項目を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

電源オン時の画面

本機の電源を入れたときに表示する画面を設定します。

省エネツール

非アクティブ時

無操作状態で設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。設定を「なし」にするまで繰り返し動作します。

電源

スイッチOFFタイマー

設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。設定を「OFF」にするまで繰り返し動作します。

自動スリープ

無操作で設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。設定を「使用しない」にするまで繰り返し動作します。

タイマー

自動的に電源をON/OFFにする時間を設定できます。

4 **設定後、戻るボタンを何回か押して元の画面に戻す**

ディスプレイオフ機能を使う

画面を表示させず音の情報のみ必要とする場合、ディスプレイオフ機能を使用すると、バックライト LED などの消費電力が抑えられます。

1 **設定ボタンを押して、決定ボタンを押す**
「システム」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す

2 **「電源と省エネ設定」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

3 **「電源」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

4 **「画像OFF」を方向ボタンで選び、決定ボタンを押す**

5 **再度画面表示させるときは、決定ボタンを押す**

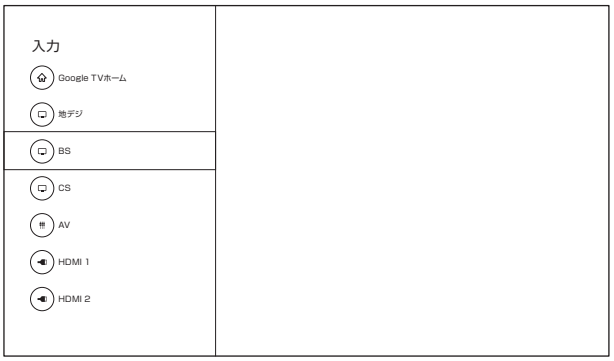
外部接続機器を表示する

入力切換をする

- 本機の外部入力端子（AV 入力、HDMI 入力）に接続したビデオや DVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しむ場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続については、「外部機器の接続」（➡19）をご覧ください。

1 **使用する外部機器の電源を入れる**

2 **㊐入力切換ボタンを押す**
㊐入力切換ボタンを押すと画面左に入力切換画面が表示されます。



3 **◈方向ボタンで上下方向に移動し、接続している端子を選んで㊊決定ボタンを押す**
- 接続する機器によって名称が変更になることがあります。
- ARC対応機器は、HDMI1端子に接続してください。他の端子はARCに対応していません

4 **接続した機器を操作する**
- 対応している入力信号でも、映像が正しく表示されないことがあります。

HDR 機能について

HDR（ハイダイナミックレンジ）対応機器からHDR10規格の映像が入力されると、自動的にHDRモードになります。
- HDR対応機器との接続には、18Gbps以上に対応したハイスピードHDMIケーブルを使用してください。
- HDRモードに切り換わると、画面左上に「HDR」と表示されます。
- ケーブルや接続機器の相性によってはHDRに切り換わらないことがあります。

Googleアシスタントのペアリング

Googleアシスタント機能を使用すると、声で操作することができます。Googleアシスタント機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります。

1 **リモコンの↩戻るボタンと音量－ボタンを同時に長押しする**
インジケータライトが赤色点滅を始めたら、ボタンから手を離してください。

画面に「✓」が表示されたらペアリング成功です。

※本体とリモコンの距離は短めで操作してください。

2 **ペアリングが設定される**

3 **検索画面などで🎙ボタンを押す**
Googleアシスタント機能が使用できるようになります。

Bluetoothの設定

Bluetooth機器を接続して使用することができます。
「無線接続(Bluetooth/Wi-Fi)について」(6ページ)もお読みください。

1 **設定メニューもしくは⚙設定ボタンを押して㊊決定ボタンを押す**
「リモコンとアクセサリ」を◈方向ボタンで選択し、㊊決定ボタンを押す

2 **接続したいBluetooth機器の電源を入れて接続できる状態にして、「アクセサリのペア設定」を押す**
Bluetooth機器を検索します。

3 **接続したいBluetooth機器の名前が表示されたら、Bluetooth機器の名前を選択する**
選択してしばらくすると、「Bluetoothペア設定リクエスト」画面が表示されるため、「ペア設定」を選択します。
接続したい機器が表示されない場合は、接続（ペアリング）状態になっていないか、すでに他の機器に接続されている、または遠すぎるなどの可能性があります。

4 **「リモコンとアクセサリ」内に接続した機器名が表示されていることを確認する**

⚠ご注意
- スピーカーやヘッドホン機器などを接続した場合、音量にご注意ください。思いがけぬ大音量になっていることがあります。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

本機下面のUSB端子(録画用)に接続した**USBハードディスク**に**デジタルテレビ放送番組**を録画できます。
(ラジオ放送、データ放送、外部入力(HDMI 入力、ビデオ入力)で視聴している動画の映像・音声は録画できません)
※ デジタル放送を録画中に、別のデジタル放送は録画できません。
- USB ハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USB ハードディスク (注)	• USB ハードディスクの電源を入れておきます。 • USB ハードディスクを登録します。 • USB ハードディスクの残量を確認します。 • 録画リストの「すべて」のタブで「録画番組数」を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を消去します。

(注) USB ハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、「USB ハードディスクを取り外す」を行なってから、接続しなおしてみてください。
- **本機で使用可能なUSBハードディスクは、セルフパワー方式の容量最大4TBまでです。**

⚠ご注意

- **USBハードディスクについて**
  USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
  本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
  接続確認済機器についてはORION・TVのHPに掲載していますのでご覧ください。

お知らせ

- USB ハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜くと、途中まで録画した番組は正しく保存されません。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画用 USB ハードディスクの接続をする

⚠ご注意

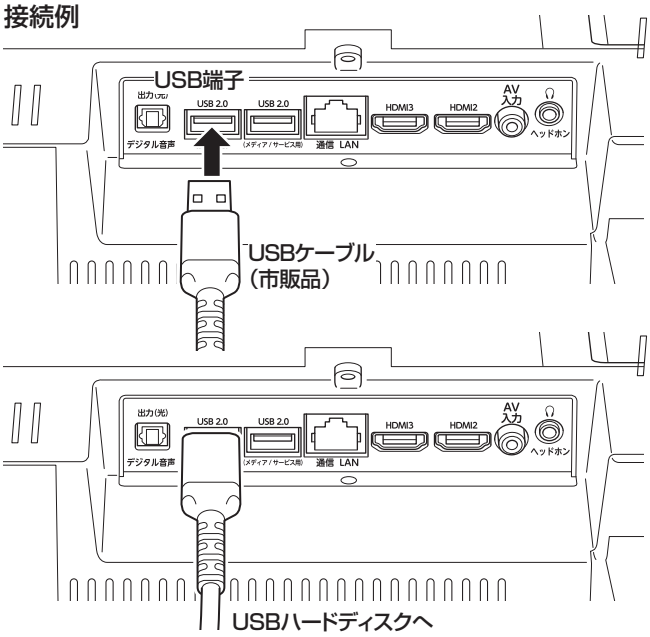
- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していた USB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続した USB ハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めてメニューの「テレビ設定」画面から「外付ハードディスクの取り外し」の操作をしてください。
- USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USB ハードディスクが故障したりする原因となります。

USB ハードディスクを接続する

本機に取り付けられる USB ハードディスクは 8 台まで登録しておくことができます。USB ハブは使用しないでください。

USBハードディスクは、USB端子（録画用）に接続します。

接続例



お知らせ

- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。
- 登録されていない HDD を接続して電源を入れると、登録が始まります。

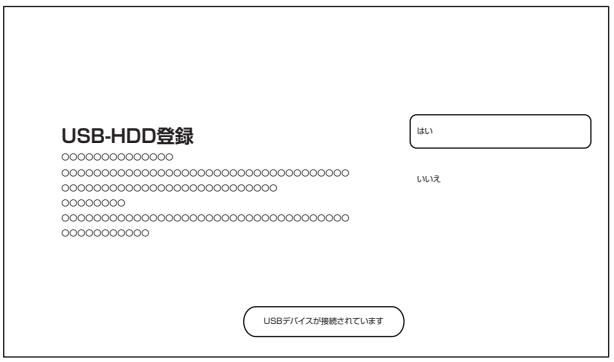
USB ハードディスクを登録する

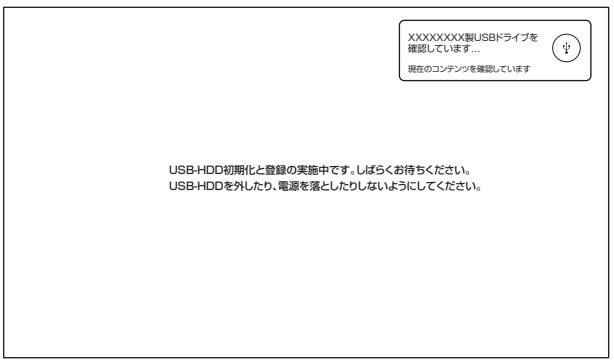
- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、しばらく待つと「HDD登録」画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 **◈方向ボタンで「はい」を選び、㊎決定ボタンを押す**

登録しないときは「いいえ」を選びます。

「はい」を選択すると登録の処理が始まります。





次ページにつづく

録画用USBハードディスクの接続をする（つづき）

2 **登録処理終了後、「登録しました」と表示されたら、(決定)決定ボタンを押す**

正しく登録されると、そのまま録画機能を使用することができるようになります。

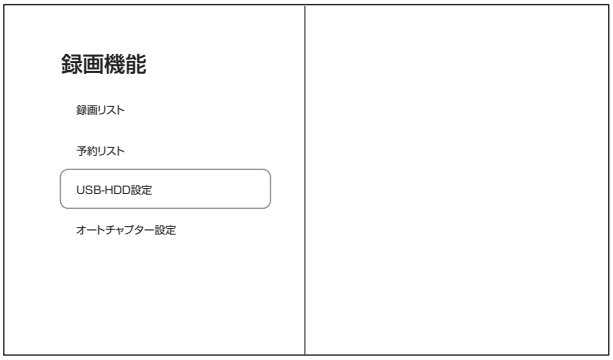
USB ハードディスクの設定をする

USBハードディスクの情報や初期化、登録解除、本機からの取りはずしなどを行ないます。

1 **テレビ受信画面のときに、(ツール)ツールボタンを押して「テレビ設定」画面を表示させ、◈方向ボタンで「録画機能」から「USB-HDD 設定」を選ぶ**

2 **USBハードディスク名が表示されるため、接続しているこれから処理したいUSBハードディスクを◈方向ボタンで選び、(決定)決定ボタンを押す**

3 **確認したい内容を◈方向ボタンで選び、(決定)決定ボタンを押す**



USB-HDD情報

- USBハードディスクの容量・録画可能残時間などを確認できます。
- 「USB-HDD名」で(決定)決定ボタンを押すと、USBハードディスク名を変更できます。他のUSBハードディスクと間違わないように、わかりやすい名前にすることができます。

初期化

- 初期化することでそれまで設定されていたUSBハードディスク上の情報などがすべて消去され、本機用のHDDとなります。
- 初期化すると元に戻すことができません。

⚠ご注意

- 初期化中はUSBハードディスクを取りはずしたり、電源を抜いたりしないでください。故障の原因となります。

登録解除

- 登録していたUSBハードディスクを他の用途に使用するときなど登録解除を行なってください。
- 登録しているUSBハードディスクが8台を超えて他のUSBハードディスクを登録したいときに、登録解除すると登録ができるようになります。
- 登録解除をすると、再度登録しても録画した番組などをみることはできなくなります。

取りはずし

- 本機の電源が入った状態でUSBハードディスクを取りはずす場合は、この「取り外し」処理を行なってください。「安全に取り外しました」が表示されたら、(決定)決定ボタンを押して、USBハードディスクを取りはずしてください。

録画をする

テレビ放送番組を録画するときは、以下の操作をします。
※ USBハードディスクに録画中はこの操作はできません。

すぐに録画を開始する

1 **テレビ放送を見ているときに(●録画)録画ボタンを押す**

2 **録画を開始する**
- (画面表示)画面表示ボタンを押すと、画面右上に録画状態などが表示されます。
- 録画開始後、チャンネルを変更したり電源を切っても、そのまま録画が続きます（裏録画）。

3 **「録画が完了しました」画面が出るので、「確認」または「録画リスト」を選び、(決定)決定ボタンを押す**
- 録画が停止します。

⚠ご注意

(●録画)録画ボタンで録画中に、すでに予約済の予約録画番組の開始時間になると現在の録画は停止します。

- 予約録画より現在の録画を優先したいときは、予約録画番組の開始約1分前に表示される「録画の準備を開始します」画面で「削除」を選び、(決定)決定ボタンを押すと予約録画は削除され、現在の録画が継続されます。

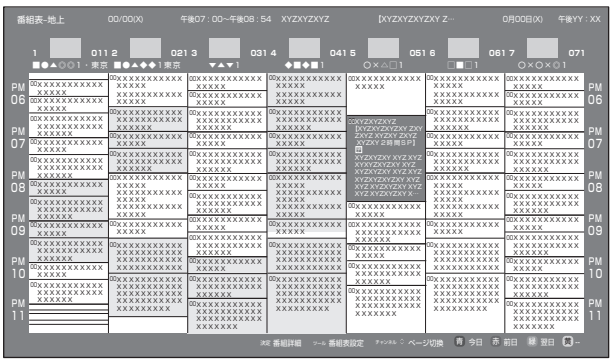
番組単位で録画をする

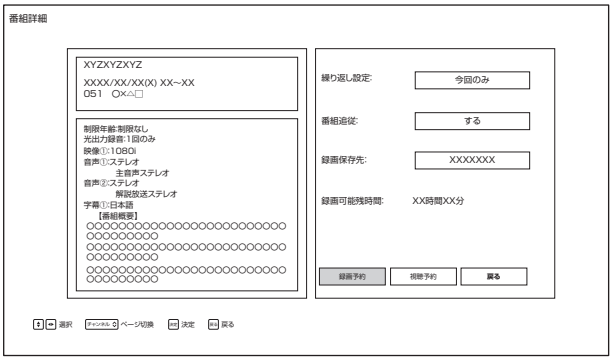
1 **テレビ放送を見ているときに番組表番組表ボタンを押す**
番組表が表示されます。

2 **録画する番組を◈方向ボタンで選び、(決定)決定ボタンを押す**
「番組詳細」画面が表示されます。
- 現在放送中の番組も選ぶことができます。
- 1 週間後までの予約ができます。
- 番組表が受信されていない場合は、利用できません。しばらくたってから確認してください。

3 **◈方向ボタンと(決定)決定ボタンで「繰り返し設定」・「番組追従」を設定をして「録画予約」を選び、(決定)決定ボタンを押す**
放送中の番組の場合「録画する」を選びます。
- 他の録画予約と時間が重なっているときは、予約を受け付けません。他の録画予約を確認してどちらかをキャンセルしてください。
- 同じ番組を毎日、毎週など録画する場合は、「繰り返し設定」をしてください。定期的に同じ番組を録画予約することができます（今回のみ／毎日／毎週／月～木／月～金／月～土）。

先に録画開始されたものが優先されます
本機では録画時間重複しての録画予約ができないようになっています。しかし、放送時間が変更されて番組追従機能で前の番組の終了時間が遅くなり、次の予約番組の時間にかかった場合、前の番組の録画終了後に次の予約番組が録画されます。
番組を確実に録画したい場合は、直前の予約番組の番組追従機能を「しない」にしておきます。





次ページにつづく

録画をする（つづき）

・ 「番組追従」は、スポーツ番組の延長などで、放送時間が変更されたときに録画時間を自動的に変更する機能です。番組にかかわらず、毎回同じ時間を希望する場合は、「しない」に設定してください。

4 **画面右下の「録画予約」「視聴予約」「戻る」から◇方向ボタンで「録画予約」を選択し、(決定)決定ボタンを押す**

5 **番組表に戻り、「この番組を録画予約しました。」が表示される**

番組表の録画予約した番組の左側にHDDマークが付きます。

6 **設定した番組の時間になると、番組の録画を開始します**

※電源が完全に切れた状態（シャットダウンした状態）では、録画予約機能は機能しません。

日時を指定して予約する

- 特定の日時を指定して予約する場合や番組表と違った録画をしたい場合（録画時間を 1 分のばしたい、録画は半分までいい、など）、日時を指定して予約することができます。
- 番組追従機能はなく、番組表が変更になっても、そのままで録画されます。

1 **放送視聴中に (ツール) ツールボタンを押す**

画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。

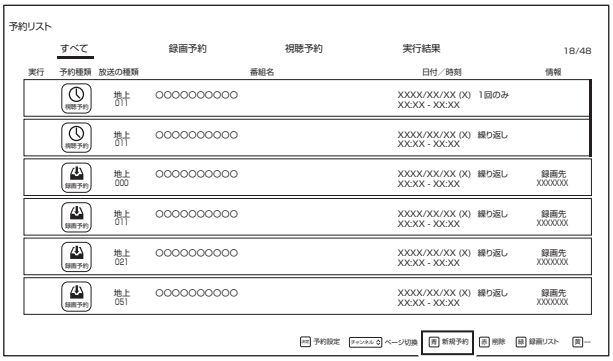
2 **テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「予約リスト」を選択する**

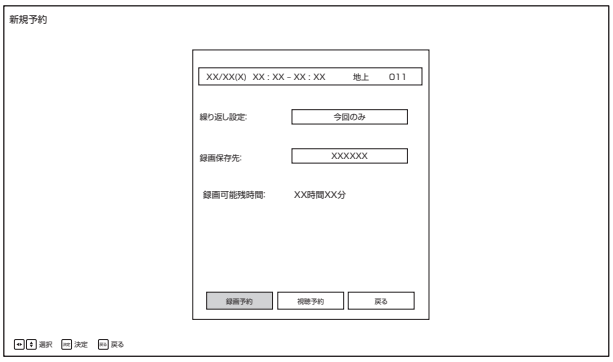
「すべて」が表示されており、視聴予約・録画予約の一覧が表示されます。

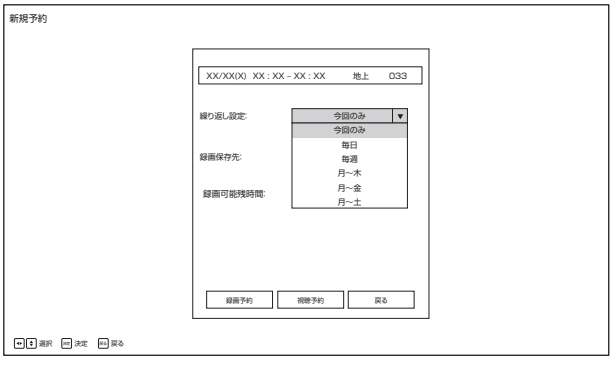
◇方向ボタン左右で「すべて」「録画予約」「視聴予約」「実行結果」を選択・表示できます。

3 **(青)青ボタンで新規予約の画面を出し、◇方向ボタンと(決定)決定ボタンで放送時間とチャンネル、「繰り返し設定」を設定して、下にある「録画予約」を選び、(決定)決定ボタンを押す**

- 日時の設定は繰り返し設定のように、押して選択肢を表示して選ぶような設定方法になっています。
- 録画時間が 6 時間を超える日時の設定はできません。



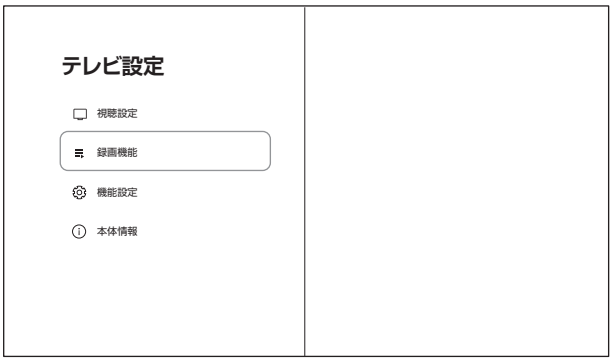




録画予約を確認する・変更をする

1 **放送視聴中に (ツール) ツールボタンを押す**

画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。



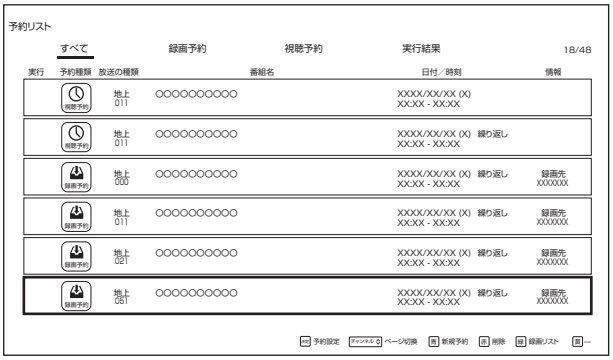
2 **テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「予約リスト」を選択する**

「すべて」が表示されており、視聴予約と録画予約の一覧が表示されます。

◈方向ボタン左右で「すべて」「録画予約」「視聴予約」「実行結果」を選択･表示できます。

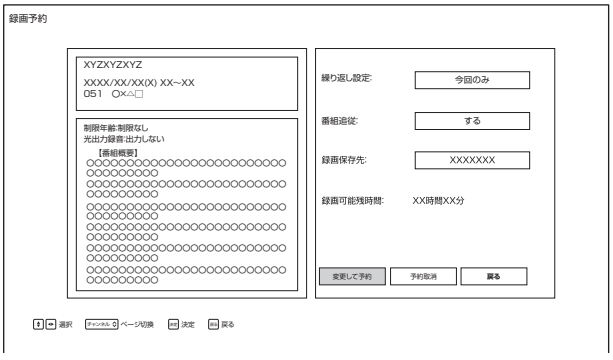
3 **◈方向ボタンで番組を選択し、(決定)決定ボタンを押すと番組の詳細が表示される**

左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、(∨ チャンネル ∧)チャンネルボタンで上下させて読むことができます。



4 **録画予約を変更する場合、◈方向ボタンと(決定)決定ボタンで録画予約を修正し、「変更して予約」ボタンを押す**

キャンセルするときは、右下の「予約取消」を押すか、予約リストでキャンセルする予約を選択し、(赤)赤ボタンを押してください。



5 **確認後は↩戻るボタンを押して放送画面に戻る**

録画を中止する

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USB ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 **録画中に録画を終了させるときは(■)停止ボタンを押す**

2 **「録画停止」画面が出るので、◈方向ボタンで停止するチャンネルを選び、(決定)決定ボタンを押す**

3 **録画を中止するか確認画面が出るので、◈方向ボタンで「中止」を選び、(決定)決定ボタンを押す**

録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

録画した番組の再生のしかた

1 **(録画リスト)録画リストボタンを押す**

録画リストが表示されます。

- USBハードディスクを接続してすぐ録画リストを表示した場合、表示が遅くなることがあります。
- USBハードディスクは現在接続されているUSBハードディスクが表示されます。

2 **必要に応じて画面左のメニューを◈方向ボタン上下で選び、(決定)決定ボタンを押して録画リストの表示を変える**

- メニューで選んだ録画番組がリストに表示されます。

3 **見たい番組を◈方向ボタン上下で選び、(決定)決定ボタンを押す**

選んだ番組の再生が始まります。

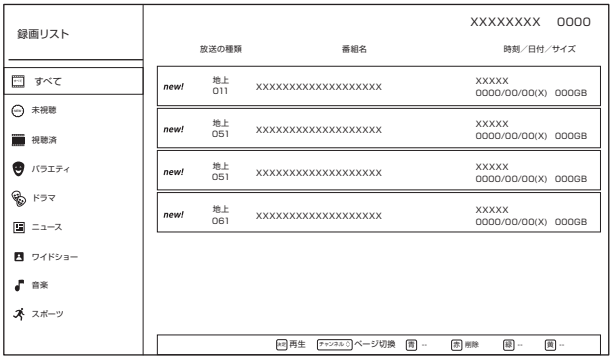
右図の操作ボタンによって操作してください。

- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生するか選択できます（レジューム再生）。
- スキップボタンに対応するチャプターは、デフォルトで 10 分となっており、チャプター間隔は変更することができます（オートチャプター機能）。
- 本機は録画中の番組の再生「追っかけ再生」には対応していません。
- 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。

4 **番組再生を終了するには、(■)停止ボタンまたは⮌戻るボタンを押す**

録画リスト画面に戻ります。

ボタン	内　容
(▶)	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します • 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクの録画リストが表示されます
(❚❚)	再生中に押すと一時停止になります
(■)	再生を終了し、録画リストに戻ります
(▶▶)	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります） ◈方向ボタン右も同様に働きます
(◀◀)	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります） ◈方向ボタン左も同様に働きます
(▶▶|)	次のチャプターの先頭にスキップして再生します
(|◀◀)	現在のチャプターの先頭または前のチャプターにスキップして再生します。
10秒バック	現在再生されている位置から10秒戻って再生されます。
30秒スキップ	現在再生されている位置から30秒進んだ位置から再生されます。



オートチャプター機能

スキップボタンでスキップする時間を設定することができます。

1 **放送視聴中に (ツール) ツールボタンを押す**

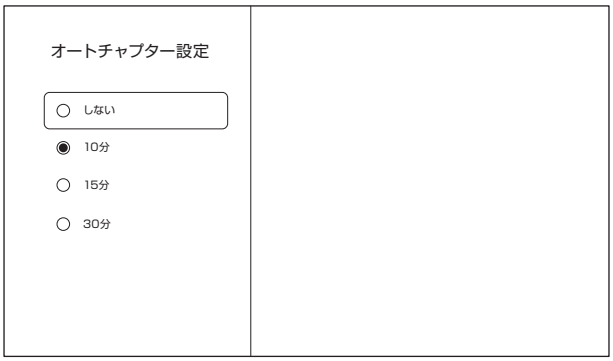
画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。

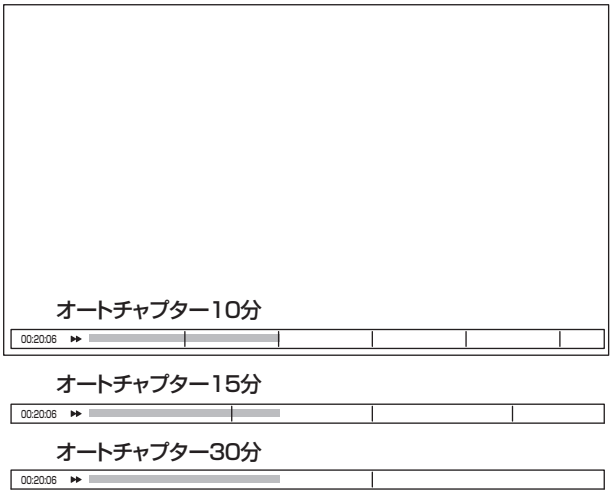
2 **テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「オートチャプター設定」を選択する**

デフォルトで10分に設定されており、15分・30分・しないに変更することができます。

3 **↩ 戻るボタンを何度か押して放送画面に戻る**

本機のチャプター機能は録画時に設定されるものではないので、録画された後でも変更可能です。





メディアプレーヤーの使用

USBメモリーの閲覧

音楽・画像・動画を記録したUSBメモリーをUSB端子（メディア/サービス用）に接続すると、内容を閲覧・再生することができます。

「USBメモリーについて」（➡6）もお読みください。

1 **USB端子にUSBメモリーを接続する**

2 **ホームボタンを押してホーム画面に移動し、方向ボタンで「メディア」アプリを選択し、決定ボタンを押す**

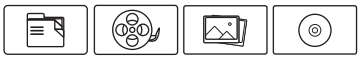
3 **「USBドライブ」を選択する**

※本機はSDカードに対応していません。

4 **ファイルを探す**

上の「動画」「画像」「音楽」を選択すると、同じフォルダ内の選択したファイルのみ表示されます。

《アイコンの例》



フォルダ　動画　画像　音楽

5 **閲覧したいファイルを選択すると表示・再生が始まる**

方向ボタンと決定ボタンで操作してください。

ファイルの種別によって再生される画面が変わります。

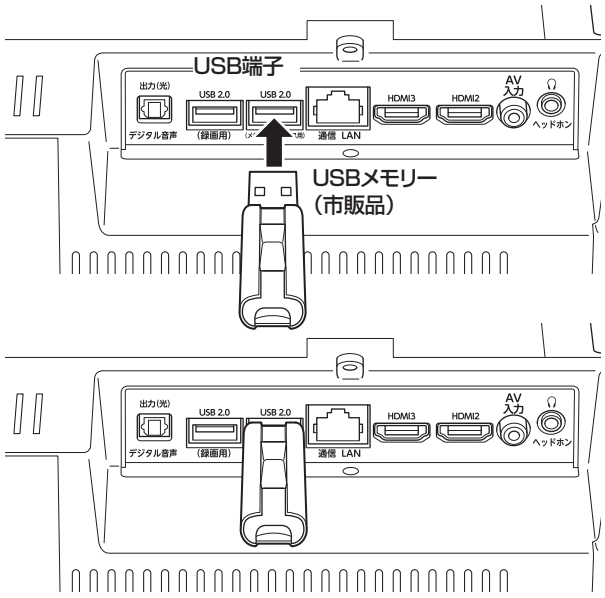
6 **メディアを終えるには、ホームボタンを押してホーム画面に戻す**

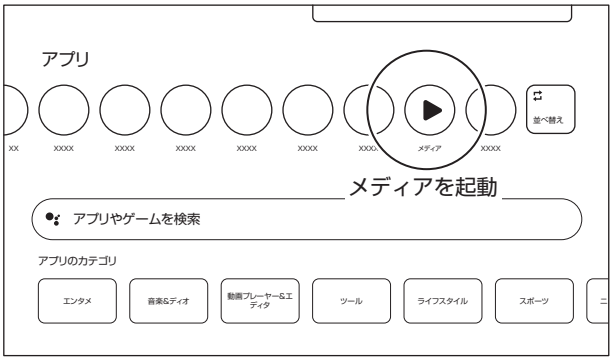
メディアを終了させてからUSBメモリーを抜いてください。

⚠ご注意

- ファイル再生中のUSBメモリーの抜き差しはしないでください。ファイル破損の原因になります。
- ファイル種別は、拡張子によって分別されています。万一適切ではない拡張子が付いたファイルを再生した場合、異音発生によりスピーカーの破損の原因になります。
- メディアのバージョンアップにより、画面のアイコンや操作方法が変わることがあります。

USBメモリー接続例

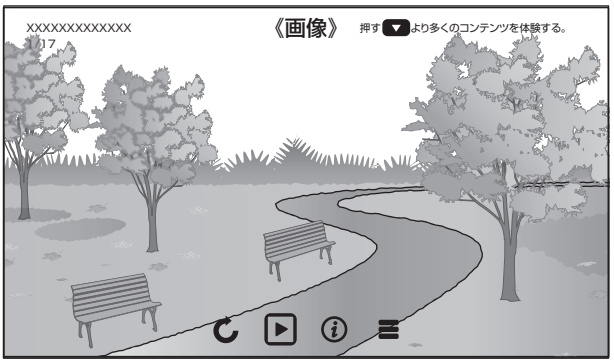


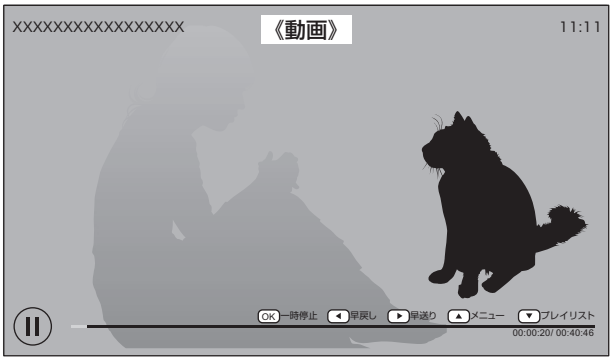


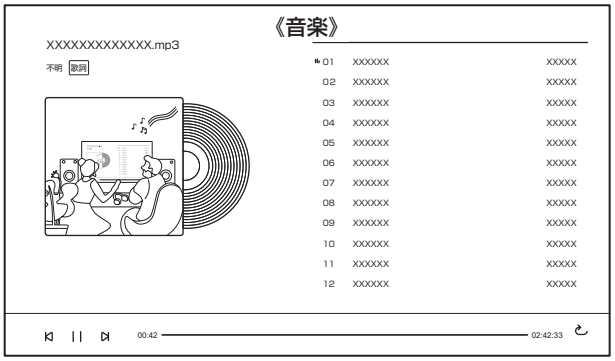
サポートされるファイル形式

写真	jpg/jpeg/png/bmp/gif
音楽	mp3 / AAC / m4a / flac / mp2 / ogg / AC3
ビデオ	avi / dat / mpeg / mpg / vob / mp4 / mov / mkv / ts / tp / trp / f4v / flv / 3gp ※ファイルによっては字幕やチャプター機能がはたらかない場合があります。

上記のファイル形式すべての表示・再生を保証するものではありません。







各種設定

設定できる項目

✿ 設定ボタンで設定できる項目を示しています。
本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります。

設定			内容
チャンネルと入力			
チャンネル	郵便番号設定		データ放送で使用する郵便番号を設定します
	地域		受信地域を設定します
	地上スキャン		現在放送されている局を順番にスキャンし登録します
	地上アッテネータ		アッテネータ設定を行ないます
	BS/CSアンテナ電源		BS/CSアンテナへの給電の設定を行います
入力	HDMI 3		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 2		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 1		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	コンポジット		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI制御		HDMI端子に接続した機器を操作できるようにします
		デバイスの自動電源オフ	本機の電源を切／スタンバイにしたとき、接続機器の電源をオフにします
		テレビの自動電源オン	接続機器の電源を入にしたとき、本機の電源をオンにします
	HDMI EDIDバージョン		HDMI EDIDバージョンの設定をします（接続機器側で本機の機能の有無が正しく読み出せないときは、接続する機器に合わせてEDIDバージョンの設定を切り換えてください）
	CECデバイスリスト		CECデバイスリストを表示します
ディスプレイとサウンド			
画像	画像モード		お好みや視聴する映像に合わせて映像モードを選べます
	自動バックライト		画像の明るさに基づいて自動的に明るさを調節します
	バックライト		お好みに合わせてバックライトの明るさを調節できます
	明るさ		お好みに合わせて見やすい明るさに調節できます
	コントラスト		お好みに合わせてコントラストを調節できます
	彩度		お好みに合わせて色の濃さを調節できます
	色調		お好みに合わせて色合いを調節できます
	シャープネス		お好みに合わせてシャープネスを調節できます
	詳細設定	色温度	色温度や赤緑青の色調をお好みに合わせて調節できます
		ドルビービジョンの通知	ドルビービジョン信号を受信したときに画面左上に通知を表示します（接続した機器やアプリの設定により、通知が出ない場合があります）
		HDR	(HDR信号を受信しているとき)HDRのオン/オフを切り換えできます
		DNR	現在のフレームと前のフレームの違いを比較して、画像の動的なノイズを低減します
		MPEG　NR	同じフレーム内の隣接するピクセルのデータを比較して、画像のスタティックノイズを低減します
		最大ビビッド	(HDR信号を受信していない状態で、画像モードを「映画」または「ゲーム」に設定 したとき)SDR画像をHDR表示に補正します
		Adaptive Lumaの制御	画像信号の輝度レベルを自動的に調節します
		ローカルコントラストの制御	画像の明るさを調節して、コントラストを上げます
		DIフィルムモード	フィルムソースの映像のとき、ラインごとの信号に補間してインターレース効果やジャダーなどを改善します
		ブルーストレッチ	画面をより白く見せるために青色の部分だけを強くします
		ガンマ	お好みに合わせて映像の明暗のバランスを調節できます
		ゲームモード	ゲームを楽しむときに遅延を短縮します
		PCモード	PC信号に適した設定にします
		HDMI RGBレンジ	本機に接続されたHDMI機器から出力される色階調レンジを設定 します
		ローブルーライト	ブルーライトカット機能の調節を行なえます
		色空間	(HDR信号を受信していないとき)色の再現範囲を調節します
		カラーチューナー	色調を調節できます
		11ポイントホワイトバランス補正	選択した画像の色温度に基づいてホワイトポイントバランスをカスタマイズできます
	デフォルトに戻す		画面設定を含めたすべての画像設定をリセットします
画面	画面		画面サイズを切り換えることができます ※外部入力で映像信号が入力されているとき

設定			内容
サウンド	サウンドスタイル		お好みや視聴する映像に合わせてサウンドスタイルを選べます
	バランス		左右のスピーカーの音量バランスを調節できます
	低音		低音をお好みに合わせて調節できます
	高音		高音をお好みに合わせて調節できます
	サウンドサラウンド		ステレオ音声をサラウンドで再生できます
	イコライザーの詳細		お好みでイコライザーのレベルを調節できます
	スピーカー		スピーカーから音を出力するか設定できます
	スピーカーの遅延		Bluetoothスピーカー接続時、音の遅延を調節できます
	音量の自動調整		入力間の大きな音量差を自動的に調節します
	ダウンミックスモード		サラウンド音声をステレオ音声にダウンミックスするか選択できます
	ドルビーオーディオ処理	ドルビーオーディオ処理	ドルビーオーディオ処理の設定を有効にできます
		サウンドモード	お好みや視聴する映像に合わせてドルビーオーディオ処理のサウンドモードを選べます
		音量の均一化	音量を均一にすることができます サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます
		サラウンドバーチャライザー	音に拡がり感を与えます サウンド モードを「ユーザー」に設定したとき選択できます
		ドルビーアトモス	ドルビーアトモスのオン/オフを切り替えます
	ダイアログエンハンサー		セリフやボーカルを聴こえやすく調節できます
	デフォルトに戻す		オーディオ出力設定を含めたすべての音声設定をリセットします
オーディオ出力	デジタル出力		デジタル音声出力のフォーマットを設定できます
	SPDIFディレイ		デジタル音声出力からの音声遅延を調節できます
ネットワークとインターネット			
Wi-Fi	利用可能なネットワーク		現在利用できるWi-Fiを表示します
	新しいネットワークを追加		Wi-Fiネットワークの名前を手動で入力して追加できます
	データセーバー		モバイルデータ使用量を節約するため、動画の画質を自動的に調整します
	データ使用量と通知		データの使用量の確認やデータ使用量の警告を設定できます
	常にスキャン		Wi-Fiがオフになっていても、Googleの位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンします
	イーサネット		有線ネットワークの接続状態を表示します
	プロキシ設定		プロキシの設定をします
	IP設定		IPアドレスの設定をします
	復帰の設定		本機の電源を遠隔操作するネットワークを設定します
アカウントとログイン			
（ログインしているアカウント名）	プロフィールのロック		アカウント設定をロックして設定を保護します
	サービス		ログインしているGoogleアカウントでおすすめコンテンツの選定に使用されるアプリケーションを設定できます。
	コンテンツの設定		映画やテレビ番組を評価して、コンテンツのおすすめの表示精度を上げることができます
	動画を自動再生する		番組と映画の予告編動画を自動的に再生するか設定します
	非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ		特定のコンテンツがライブラリに表示されないように設定できます
	支払いと購入		本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
	Googleアシスタント		音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます。
	アプリ専用モード		ホーム画面でおすすめコンテンツや見たいものリストの機能を非表示にできます
	削除		アカウントを削除します
アカウントを追加する			本機で使用するアカウントを追加できます
子どもを追加			本機で使用する子どものアカウントを追加できます

次ページにつづく

各種設定（つづき）

設定			内容
プライバシー			
位置情報			Googleの位置情報サービスの設定ができます
使用状況と診断			デバイス、アプリなどの障害レポートや使用状況データなどの診断情報をGoogleに自動的に送信するか設定できます
広告			広告IDのリセット、削除ができます
Googleアシスタント			音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます
お支払いとご購入			本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
アップデートの管理			アプリのアップデートの確認や、アンインストールなどの設定ができます
アプリの権限			アプリケーションに割り当てられた権限が確認できます
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリケーションの確認や設定ができます
セキュリティと制限		提供元不明のアプリ	提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します
アプリ			
アプリをすべて表示			各アプリケーションの表示、キャッシュの削除やアンインストールなどの設定ができます
アップデートの管理			アプリのアップデートの確認や、アンインストールなどの設定ができます
アプリの権限			アプリケーションに割り当てられた権限が確認できます
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリケーションの確認や設定ができます
セキュリティと制限		提供元不明のアプリ	提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します
システム			
デバイス情報			
システムアップデート			ソフトウェアをアップデートします
デバイス名			本機のデバイス名の表示、変更をすることができます
リセット		出荷時設定にリセット	お買い上げ時の設定に戻します
ステータス			ネットワーク、シリアル番号などの情報を表示します
法的情報			ライセンス情報や規約を表示します
モデル			本機のモデル名を表示します
AndroidTVのOSバージョン			本機のOSのバージョンを表示します
AndroidTVのOSセキュリティパッチレベル			Androidのセキュリティを向上する目的でパッチ作業を実施した日付を表示します
カーネルバージョン			本機のOSのカーネルバージョンを表示します
AndroidTVのOSビルド			本機のOSのビルド番号を表示します
Netflix ESN			Netflixの端末番号を表示します
ソフトウェアバージョン			本機のソフトウエアバージョンを表示します
日付と時刻			日付と時刻の取得方法や表示形式を設定できます。
言語			本機の表示言語を設定します
キーボード			スクリーンキーボードの設定をします
ストレージ			本機の内部ストレージ、本機に接続している外部ストレージの情報表示やUSBデバイスの取りはずしをします
スクリーンセーバー			スクリーンセーバーの開始や設定をします
電源と省エネ設定	電源オン時の画面		本機の電源がオンになった時の画面を設定します
	省エネツール		無操作の状態が設定した時間経過したときにスタンバイ状態にします 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
	電源	スリープタイマー	本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後、設定値はオフに戻ります
		画像OFF	画面の表示をオフにします 決定ボタンを押すと元に戻ります
		スイッチOFFタイマー	本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
		自動スリープ	無操作の状態が設定した時間経過したときにスタンバイ状態にします 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
	タイマー	電源ONのスケジュール	オンタイマーをオフ/オン/1回から設定できます
		自動的に電源をONにする時刻	自動的に電源をオンにする時刻を設定します
		電源をOFFにする時刻の種類	オフタイマーをオフ/オン/1回から設定できます
		自動的に電源をOFFにする時刻	自動的に電源をオフにする時刻を設定します

設定			内容
キャスト			Wi-Fiに接続されているすべてのAndroidデバイスに通知を表示し、このデバイスにキャストされているメディアの操作をそのデバイスに許可します
システム音			操作時のシステム音をオン/オフします
販売店モード			販売店での展示用の設定です
再起動			本機を再起動します
ユーザー補助			
TalkBack			画面にある文字(アイコンやボタンを含む)を読み上げたり、アプリを操作したり、点字や音声、キーボードでの入力によるコミュニケーションを支援します
テキスト読み上げ			Googleの音声サービスの設定をします
ユーザー補助のショートカット			ユーザー補助機能のショートカットを有効にしている場合、戻るボタンと下ボタンの両方を3秒間押し続けると、選択したユーザー補助機能(TalkBack/スイッチアクセス)が起動します
スイッチアクセス			外付けのスイッチや外部キーボードを接続し、キーに操作を割り当ててスイッチデバイスとして設定することで、タッチスクリーンの代わりにスイッチでAndroidデバイスを操作できます 画面上の項目をスキャンして、各項目を順番にハイライト表示し、目的の項目がハイライト表示されたらその項目を選択できます
字幕			字幕の設定をします。特定のアプリには適用されない場合があります
高コントラストテキスト			本機のフォントを見やすくする機能です
リモコンとアクセサリ			
リモコンとアクセサリ			リモコンやBluetoothアクセサリのペアリング、接続解除などをすることができます
ヘルプとフィードバック			
ヘルプとフィードバック			Googleにフィードバックを送信します

設定できる項目（テレビ設定）

テレビ受信画面から(ツール)ツールボタンで設定できる項目を示しています。
本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります

設定			内容
テレビ設定			
視聴設定	字幕		字幕を切り換えます
	映像切換		複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えます
	音声切換		複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えます
	オーバースキャン		オーバースキャンを切り換えます
	ラジオ・データ表示		番組表やチャンネルリストにラジオ放送やデータ放送のチャンネルを表示するか設定します
	画面表示常時表示		画面表示を常時表示にするか設定します
録画機能	録画リスト		録画リストの表示　録画した番組の再生や削除ができます
	予約リスト		予約リストの表示　録画予約・視聴予約の確認・変更・削除ができます
	USB-HDD設定		USBハードディスクの管理　初期化・登録・削除を行ないます
	オートチャプター設定		録画した番組を再生するときのチャプター設定をします
機能設定	信号レベル	地上／BS／CS	各チャンネルの受信レベルを確認することができます
	チャンネル番号設定	地上／BS／CS	リモコンのチャンネルの並びをお好みに変更できます
	チャンネルスキップ設定	地上／BS／CS	不要なチャンネルをスキップ設定することができます
	暗証番号設定		視聴制限をするための暗証番号を設定します
	視聴制限設定		視聴制限のある番組を視聴させない設定をすることができます
	無信号オートパワーオフ		無信号になったときに、自動的に電源を切る時間を設定します
本体情報	お知らせ		放送局や本機についてのお知らせが届きます
	個人情報初期化		テレビの設定をすべて消去し、出荷時状態に戻します
	ソフトウェア情報	本体情報	システムのバージョンなどを表示します
		BCAS情報	B-CASカードの番号を表示します
		ライセンス情報	ライセンス情報を表示します

各種設定（つづき）

設定できる項目（外部入力）

外部入力画面から (ツール) ツールボタンで設定できる項目を示しています。
本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります。

設定			内容
入力			入力を切り換えます
画像	画像モード		お好みや視聴する映像に合わせて画像モードを選べます
	自動バックライト		画像の明るさに基づいて自動的に明るさを調節します
	バックライト		お好みに合わせて画面の輝度レベルを調節できます
	明るさ		お好みに合わせて見やすい明るさに調節できます
	コントラスト		お好みに合わせてコントラストを調節できます
	彩度		お好みに合わせて色の濃さを調節できます
	色調		お好みに合わせて色合いを調節できます
	シャープネス		お好みに合わせてシャープネスを調節できます
	詳細設定	色温度	色温度や赤緑青の色調をお好みに合わせて調節できます
		ドルビービジョンの通知	ドルビービジョン信号を受信したときに画面左上に通知を表示します（接続した機器やアプリの設定により、通知が出ない場合があります）
		HDR	(HDR信号を受信しているとき)HDRのオン/オフを切り換えできます
		DNR	現在のフレームと前のフレームの違いを比較して、画像の動的なノイズポイントを特定し、ノイズを低減します
		MPEG NR	同じフレーム内の隣接するピクセルのデータを比較して、画像のスタティック ノイズ ポイントを特定し、ノイズを低減します
		最大ビビッド	(HDR信号を受信していない状態で、画像モードを「映画」に設定したとき)SDR画像をHDR表示に補正します
		Adaptive Lumaの制御	画像信号の輝度レベルを自動的に調節します
		ローカル コントラストの制御	画像の明るさを調節して、コントラストを上げます
		DI フィルムモード	フィルムソースの映像のとき、ラインごとの信号に補間してインターレース効果やジャダーなどを改善します
		ブルーストレッチ	画面をより白く見せるために青色の部分だけを強くします
		ガンマ	お好みに合わせて映像の明暗のバランスを調節できます
		ゲームモード	ゲームを楽しむときに遅延を短縮します
		ALLM	(HDMI入力のとき)HDMI接続で入力されたコンテンツに応じて、低遅延モードと高画質モードを自動的に切り替えます
		PCモード	PC信号に適した設定にします
		HDMI RGB レンジ	本機に接続されたHDMI機器から出力される色階調レンジを設定します
		ロー ブルーライト	ブルーライトを軽減することができます
		色空間	色の再現範囲を調節します
		カラーチューナー	色の設定を微調整できます
		11ポイント ホワイト バランス補正	選択した画像の色温度に基づいてホワイトポイントバランスをカスタマイズできます
	デフォルトに戻す		画面設定を含めたすべての画像設定をリセットします
画面			画面サイズを、切り換えることができます ※外部入力で映像信号が入力されているとき
サウンド	サウンド スタイル		お好みや視聴する映像に合わせてサウンドスタイルを選べます
	バランス		左右のスピーカーの音量バランスを調節できます
	低音		低音をお好みに合わせて調節できます
	高音		高音をお好みに合わせて調節できます
	サウンド サラウンド		ステレオ音声をサラウンドで再生できます
	イコライザーの詳細		お好みでイコライザーのレベルを調節できます
	スピーカー		スピーカーから音を出力するか設定できます
	スピーカーの遅延		Bluetoothスピーカー接続時、音の遅延を調節できます
	音量の自動調整		入力間の大きな音量差を自動的に調節します
	ダウンミックス モード		サラウンド音声をステレオ音声にダウンミックスするか選択できます

設定			内容
サウンド	ドルビー オーディオ処理	ドルビー オーディオ処理	ドルビーオーディオ処理の設定を有効にできます
		サウンドモード	お好みや視聴する映像に合わせてドルビーオーディオ処理のサウンドモードを選べます
		音量の均一化	音量を均一にすることができます サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます
		サラウンド バーチャライザー	音に拡がり感を与えます サウンド モードを「ユーザー」に設定したとき選択できます
		ドルビーアトモス	ドルビーアトモスのオン/オフを切り替えます
	ダイアログ エンハンサー		セリフを聴こえやすく調節できます サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます
	デフォルトに戻す		オーディオ出力設定を含めたすべての音声設定をリセットします
字幕			（コンポジットのとき表示）字幕の設定をします
電源	スリープ タイマー		本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後、設定値はオフに戻ります"
	画像 OFF		画面の表示をオフにします　決定ボタンを押すと元に戻ります
	スイッチ OFF タイマー		本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
	自動スリープ		無操作の状態が設定した時間経過した時にスタンバイ状態にします 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
保護者による使用制限	PINの入力	プログラムの制限	（コンポジットのとき表示）暗証番号を設定してプログラムの視聴制限をします
		入力をブロック	暗証番号を設定して指定した外部入力の選択を制限します
		PINの変更	暗証番号を変更できます
詳細オプション	ブルーミュート		外部入力に信号が入力されていないとき、画面を青色にします
	無信号オートパワーオフ		無信号の状態が設定した時間経過した時にスタンバイ状態にします
	オープンソース ライセンス		使用しているオープンソースライセンスを表示します
設定			設定メニューを表示します

アップデートのしかた

ソフトウェアをアップデートする

本機のソフトウェアは、機能の改善や機能の追加、セキュリティ対策のためアップデートが用意されます。

⚠ご注意

- アップデートにはインターネット接続が必須です。
- アップデート中に電源を切ったり、電源コードをコンセントからはずさないでください。

1 **⚙設定ボタンを押す**

画面右側にメニューが表示されます

2 **◈方向ボタンと㊐決定ボタンで、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「システムアップデート」と選択する**

3 **「システムアップデート」で㊐決定ボタンを押すと、アップデート確認が始まる**

4 **アップデートに必要なダウロード可能なデータがある場合は、画面の指示に従ってダウンロードする**

「お使いのシステムは最新の状態です」と表示される場合は、最新の状態のため、アップデートは必要ありません。

5 **画面の指示に従ってアップデートをする**

対応するHDMI入力映像フォーマット

- 映像が表示されない場合、下表の入力信号に合うように映像機器やパソコンなどの設定を変更してください。
- パソコンを接続する場合、リフレッシュレートを60Hzに設定することを推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック
480i	720 × 480	59.94/60Hz	15.734/15.750KHz	27.000/27.027MHz
480p	720 × 480	59.94/60Hz	31.469/31.500KHz	27.000/27.027MHz
1080i	1920 × 1080	59.94/60Hz	33.716/33.750KHz	74.176/74.250MHz
720p	1280 × 720	59.94/60Hz	44.955/45.000KHz	74.176/74.250MHz
1080p	1920 × 1080	59.94/60Hz	67.433/67.500KHz	148.352/148.500MHz
		23.98/24Hz	26.973/27.000KHz	74.176/74.250MHz
		29.97/30Hz	33.716/33.750KHz	74.176/74.250MHz
2160p	3840 × 2160	24Hz	54.000KHz	297.000MHz
		30Hz	67.500KHz	297.000MHz
		60Hz	135.000KHz	594.000MHz
	4096 × 2160	24Hz	54.000KHz	297.000MHz
		30Hz	67.500KHz	297.000MHz
VGA	640 × 480	60Hz	31.469/31.500KHz	25.175/25.200MHz
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879KHz	40.000MHz
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363KHz	65.000MHz
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776KHz	79.500MHz
	1360 × 768	60Hz	47.712KHz	85.500MHz
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981KHz	108.000MHz

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
全般		
すべての操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、電源コンセントに差し込んで、改めて電源を入れてください それでも操作を受け付けない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはドウシシャカスタマーセンターにご連絡ください
アプリが正しく動作しない	内部共有ストレージの空き容量が不足していて、アプリの動作が不安定になっている	設定→システム→ストレージ→内部共有ストレージで使用可能容量を確認してください 空き容量が不足している場合は、不要なアプリやデータを削除してください
電源が自動で入る	ネットワークとインターネットの起動設定の機能により、外部機器のアプリ等からの操作で電源が入っている	設定→ネットワークとインターネット→復帰の設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオフに切り換えてください
リモコンで操作できない	Bluetooth 接続が切断されて、赤外線での操作になっている	設定→リモコンとアクセサリでリモコンの Bluetooth 接続が完了していることを確認してください
外部機器のアプリのリモコン機能などで本機の操作ができない	本機と同じネットワークに接続されていない	本機と外部機器が同じネットワークに接続されているか確認してください
	ネットワークとインターネットの起動設定がオフになっている	設定→ネットワークとインターネット→復帰の設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオンに切り換えてください
ときどき「カチッ」や「ビューン」と音がする	本機はスタンバイ時各種情報取得や時刻修正などを自動で行なっている	問題ありません
ときどき「ジー」といった音がする	使用中の動作音、または背面の壁と間隔が短いと反射音が大きく聴こえることがあります	問題ありません 壁からの反射音の場合は、壁からの距離を十分にとってください
本体の上部や背面の温度が高い	長時間使用した場合、50 ～ 60° C ぐらいまで温度が上昇することがあります	問題ありません
本体の表面の温度が高い	長時間使用した場合、液晶バックライトの影響で 50 ～ 60° C ぐらいまで温度が上昇することがあります	問題ありません
視聴中の番組表しか表示されない	番組表を受信できていない 番組表更新時に電源が切れていた	番組表は放送ごとに送信されてきます 表示されない放送局を選局後、しばらく視聴ください
本体の電源ボタンを押してもスタンバイ状態にならない	スイッチアクセス機能がオンになっている	設定→ユーザー補助→スイッチアクセス→有効にするをオフに切り換えてください
映像		
急に画質や音質が低下した	降雨対応放送になっている 雨の影響で電波が弱くなることがあります	天候の回復により戻ります
映像も音声も出ない	電源プラグが、コンセントから抜けている	電源プラグの接続を確認してください
	本体の電源が入っていない	電源ボタンを押して電源を入れてください
	テレビ以外の外部入力を選択している	入力切換 入力切換ボタンを押して入力切換をしてください
	外部機器が正しく接続されていない	外部機器の接続と電源を確認してください
音が出るが映像が出ない	外部機器が正しく接続されていない	外部機器の接続を確認してください
映像内容が変わっても、前の映像が残って見える	静止画やメニューを短時間（1 ～数分以上）表示し、映像内容が変わると、前の静止画など残像として見えることがあります	問題ありません 次第に回復します
有料放送が視聴できない	B-CASカードが正しく取り付けられていない	B-CAS カードを正しく取り付ける
	有料放送の視聴契約をしていない	有料放送の視聴契約をする

次ページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
字幕が出ない	字幕のない番組をみている	番組詳細で字幕があるかないかを確認してください
	字幕の設定が「オフ」になっている	字幕設定を「オン」にしてください
映像が停止したり選局やそのほか操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、改めてコンセントに差し込み、確認・様子を見る
音声		
映像は出るが音が出ない	本機のスピーカー出力がオフになっている	設定→ディスプレイとサウンド→サウンド→スピーカーをオンに切り換えてください
	音量が最小になっている	− 音量 ＋ 音量＋ボタンで音量を上げる
	消音 消音ボタンが押されている	再度 消音 消音ボタンを押してください
	ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンが接続されている	ヘッドホン端子を確認し、接続されているものをはずしてください
	音声接続されていない	音声接続を正しく接続する
急に画質や音質が低下した	降雨対応放送になっている 雨の影響で電波が弱くなることがあります	天候の回復により戻ります
操作時に勝手に音声が読み上げられる	TalkBack 機能がオンになっている	設定→ユーザー補助→ TalkBack →有効にするをオフに切り換えてください
HDD録画		
録画できない	録画禁止の番組、ラジオやデータ放送を録画しようとした	これらの番組は録画できません
	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	録画済タイトル数が上限を超えた	不要な番組を削除してください
	HDDアクセス中に電源プラグを抜いたり、USBプラグを抜いたりした	正しく取り付ける（復活しないときは、USBハードディスクをフォーマットしてください）
録画予約した番組が録画されていない	電源を切るとき、シャットダウンした（リモコンの電源ボタンを長押し、または無信号電源オフ機能で電源がシャットダウンされると、電源オフ中にHDD録画動作しません）	録画予約開始前に電源を入／切して、スタンバイ状態にしておいてください
録画が途中で止まる	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	途中から録画禁止の番組に変わった	録画禁止の番組は録画できません
	録画中に電源やUSBのはずれ、停電が起きた	それぞれプラグをしっかり取り付けてください（停電時の録画には対応できません）
予約録画ができない	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	録画禁止の番組、有料のもので未契約の番組を予約しようとした	録画禁止の番組や未契約の番組は録画予約できません
再生できない	録画したときに異常があって正常に録画できなかったものを再生しようとした	正常に録画できなかった番組は再生できません
再生画面にブロックノイズが多数発生する	録画したときに受信状態が悪かった 画面の激しい動きに対応しきれていない 元画像にブロックノイズがある	問題ありません
	HDDのエラーが発生している	頻発するときは、USBハードディスクをフォーマットしなおし、改善しないときはUSBハードディスクを変更する
	HDDの不調	

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
予約録画した番組が正しく録画されていない	録画可能時間が足りなかった	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	放送番組の追従機能で前の番組が予約時間にかかってしまった	優先したい番組の前の予約には追従機能は使用しないでください
	録画禁止の番組を録画した	番組説明を確認してください
	ソフトウェアのアップデートが行なわれた	ソフトウェアのアップデート中は録画できないため、日頃から問題ない時間にソフトウェアのアップデートをしておく
HDD を認識しない	USBハブを使用して接続している	USB 端子に直接接続する
	仕様に合っていないUSBハードディスクを接続している	仕様に合った USB ハードディスクを使用する（セルフパワー方式の 4TB まで）
録画した番組すべて消えた	録画中や再生中にUSBハードディスクの接続や電源が切れてダメージが大きく、番組が消失した	接続しなおすなどしてみて、表示されない場合は、初期化してみる（ダメージが大きい場合は使用しない）
メニューや番組表などの表示が遅いことがある	録画などの内部処理で表示などの処理が遅くなることがあります	問題ありません
デジタル放送		
デジタル放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない	B-CASカードを正しく挿入しなおしてください
	UHFアンテナまたはBS/CSアンテナが設置されていない／正しい方向を向いていない	UHFアンテナ・BS/CSアンテナの設置・向きを確認してください
	アンテナ線が正しく接続されていない	アンテナ線を正しく接続してください
	お住まいの地域を正しく設定していない	チャンネルの設定をしてください
HDMI接続		
映像が出ない・映像が乱れる・音声が出ない	正しく接続されていない	形状を合わせて奥まで正しく取り付ける
	HDMIケーブルの一部製品では使用できないことがあります	別なケーブルを使用してみてください
	接続の同期具合が悪い	テレビおよび接続機器の電源を入／切してみてください
	対応信号に合っていない（スクリーンサイズ・解像度・周波数など）（音声にノイズが入る場合でも設定が必要な場合があります）	接続機器の設定を対応信号に設定してみてください
HDMI連動が動作しない・正しく動作しない	本機のHDMI連動を正しく設定していない	設定→チャンネルと入力→入力の HDMI 制御の設定を確認する
	HDMI連動機器をつなぎ変えたり、取り換えた場合は正しく動作しないことがあります	設定→チャンネルと入力→入力の HDMI 制御の設定をしなおす
	HDMI連動機器が対応していない	HDMI連動機器側の設定を確認する
	接続しているHDMIケーブルが対応していない	HDMI規格に合ったケーブルを使用する ・1080pの映像信号を入力する場合はHighSpeed対応品を使用する ・ARC機能を使用するにはARC対応のケーブルを使用する

主な仕様

型番		DLS50RD10
OS		GOOGLE TV (Android™11)
メモリー	RAM	DDR 2.0GB
	ROM	eMMC 16GB
液晶パネル	画面サイズ	50V型
	バックライト	LED
	画素数	3840×2160
	アスペクト比	16:9
	視野角	左右約178°/上下約178°
受信チャンネル		地上デジタル：UHF（13～62ch） CATVパススルー（VHF、UHF）対応 BSデジタル：BS（000～999ch） 110度CSデジタル：CS（000～999ch）
チューナー		地上デジタル×2、BS・110度CSデジタル×2
音声出力(スピーカー)		10W+10W
リモコン		赤外線+ワイヤレス
入出力端子	HDMI入力	3系統(HDMI2.1対応)、CEC対応、ARC対応(HDMI 1のみ)、HDCP対応
	ビデオ入力	1系統　3.5mmミニジャック
	ヘッドホン出力	1系統　3.5mmミニジャック
	デジタル音声出力	1系統　光デジタル角形
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX
	USB端子	2系統 録画用・メディア/サービス用（USB2.0）
ワイヤレス	Wi-Fi	2.4GHz/5.0GHz
	Bluetooth	BluetoothV5.0
機能	プリインストールアプリ	Netflix、YouTube、PrimeVideo、メディアプレーヤー、etc.
	キャスト	GoogleCast
	音声検索	Googleアシスタント
	HDR	HDR10/HLG/DolbyVision
	高音質	Dolby Atmos
使用環境/保管環境		温度：0～40°C / −20～60°C 湿度：80%RH以下（結露がないこと）
VESAマウント		400mm × 200mm
	取付ネジ	上：M6×20mm×2本（市販品） 下：M6×12mm×2本（市販品）
サイズ	スタンドなし	111.0(幅)×　9.2(奥行)×64.2(高さ) cm
	スタンドあり　約	111.0(幅)×21.3(奥行)×70.0(高さ) cm
重量	スタンドあり　約	8.4 kg
電源		AC 100V　50/60Hz
消費電力		103W

付属品	リモコン（RR-020）×1、単4形乾電池×2、電源コード×1、スタンド×2、 スタンド取付用ネジ×4、転倒防止用フック×2（本体取付済）、 ネジ×2（本体取付済）、ビデオ入力用変換ケーブル×1、B-CASカード×1、 B−CASカードカバー×1、固定ネジ×1、取扱説明書×1、保証書×1

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

MEMO

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認してください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店もしくはドウシシャカスタマーセンターまでご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をご確認の上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。
保証期間……お買い上げ日から 1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはドウシシャカスタマーセンターまでお問い合わせください。

株式会社ドウシシャ

■故障・修理についてのご相談に関しては…
⇒ドウシシャ福井カスタマーセンター
【営業日】平日 (9：00 ～ 17：00) 【休業日】土日祝日、年末年始、弊社指定日
〒915-0801 福井県越前市家久町41-1
TEL 0778（24）2779 FAX 0778（24）2799

※製品名、型番をご確認のうえ、お電話いただきますようお願いいたします。
※FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- 製品名・型番・お買い上げ日・お買い上げ販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しくご連絡ください）

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ドウシシャ（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
当社は、お客様の個人情報を、製品のご相談の対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合や、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年間です。

本機の操作ができなくなったときは、以下の操作をお試しください

① 電源プラグをコンセントから抜いて、数分間待つ
② 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れて動作を確認する
③ この操作をしても症状が改善しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはドウシシャカスタマーセンターへ修理をご依頼ください。

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

株式会社ドウシシャ 福井カスタマーセンター

電話	FAX
0778(24)2779	0778(24)2799

WEBからのお問い合わせ

https://www.doshisha.co.jp/support/

最新の取扱説明書はこちら

https://www.doshisha-orion.com/support/

詳細については、保証とアフターサービス（➡ 59）をご確認ください。

【営業日】平日 (9:00 ～17:00)　【休業日】土日祝日、年末年始、弊社指定日

〒915-0801　福井県越前市家久町 41-1

ドウシシャのパーツ購入は ドウシシャマルシェ
DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで
https://www.doshisha-marche.jp/

株式会社ドウシシャ

https://www.doshisha.co.jp/